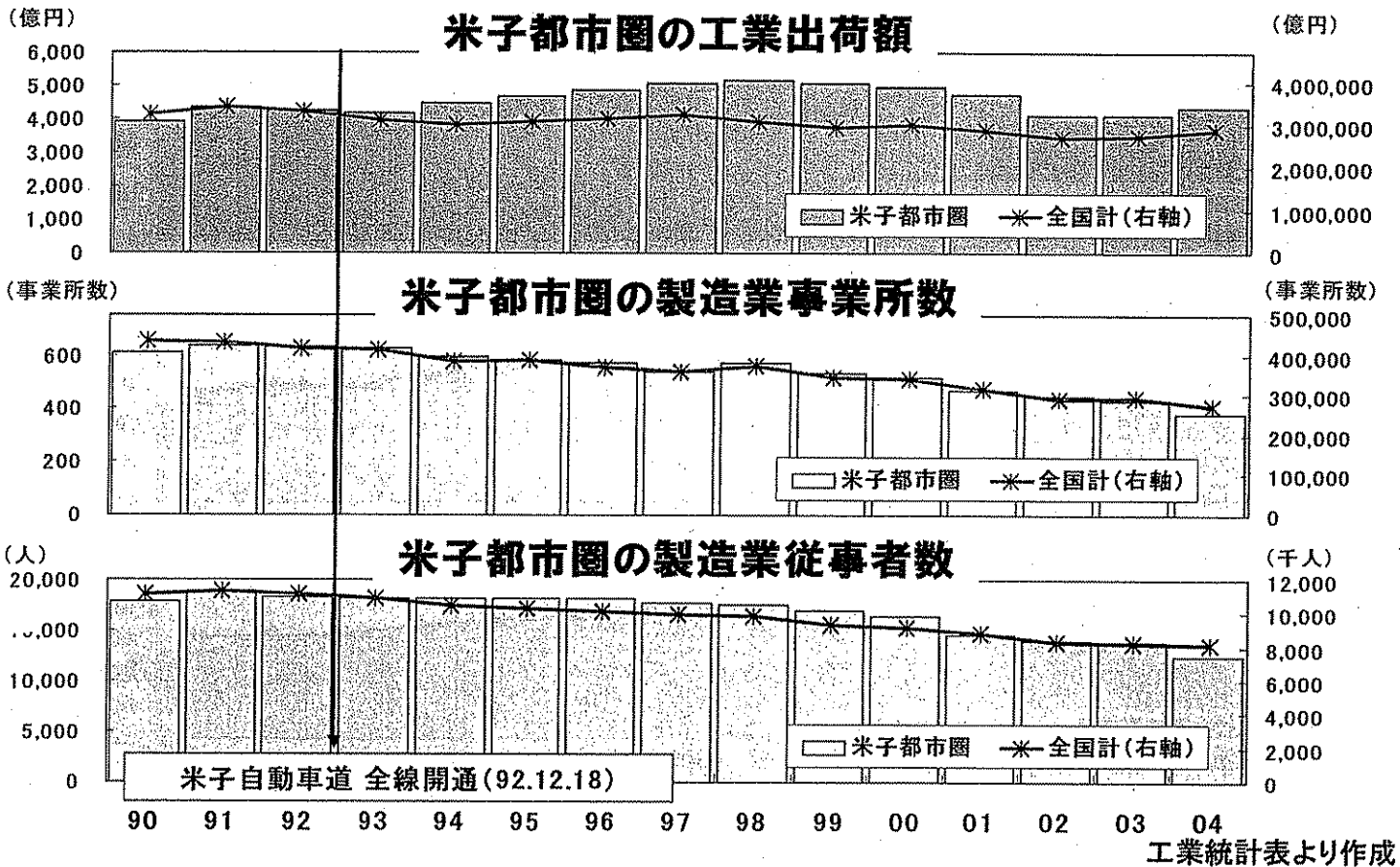
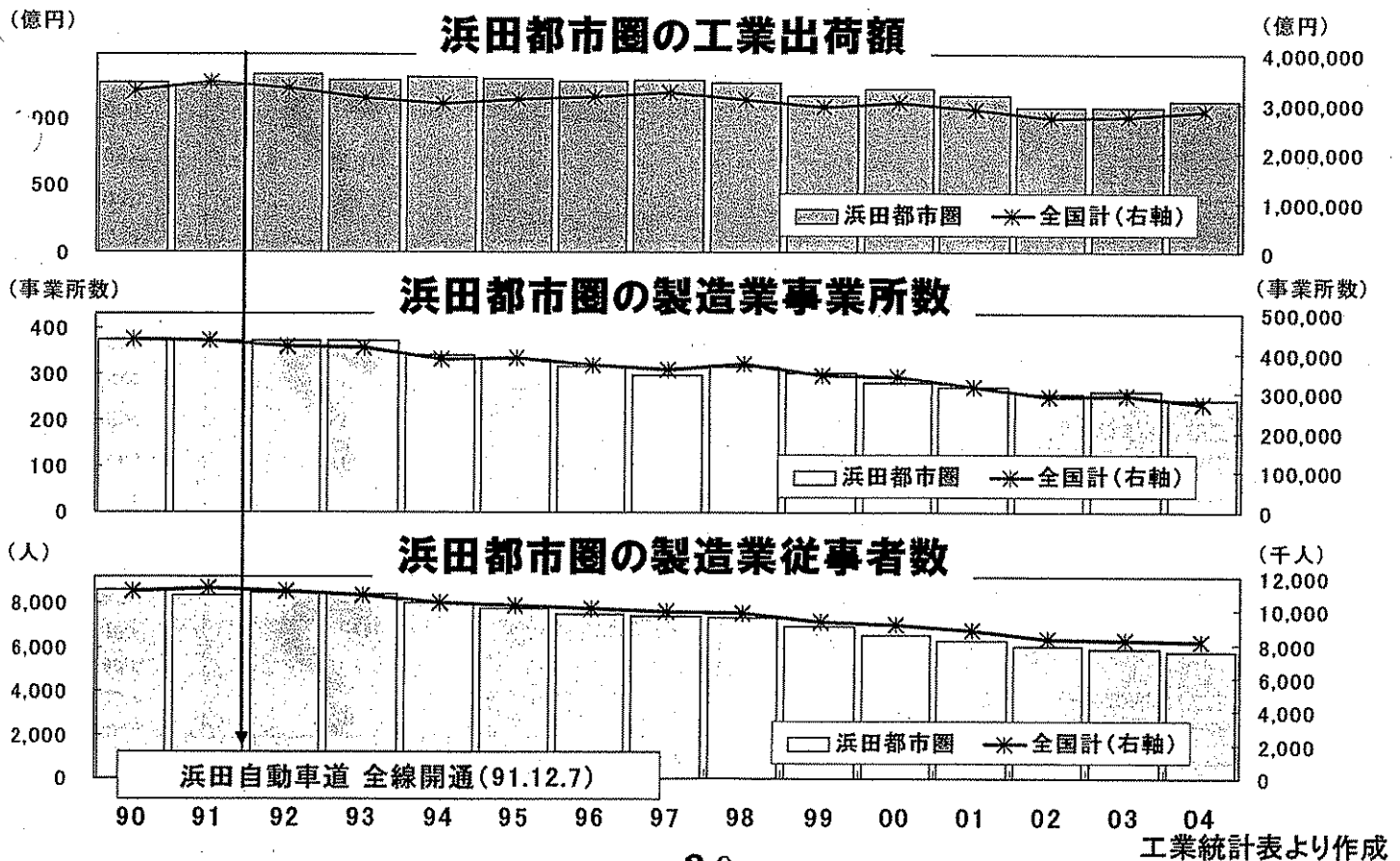


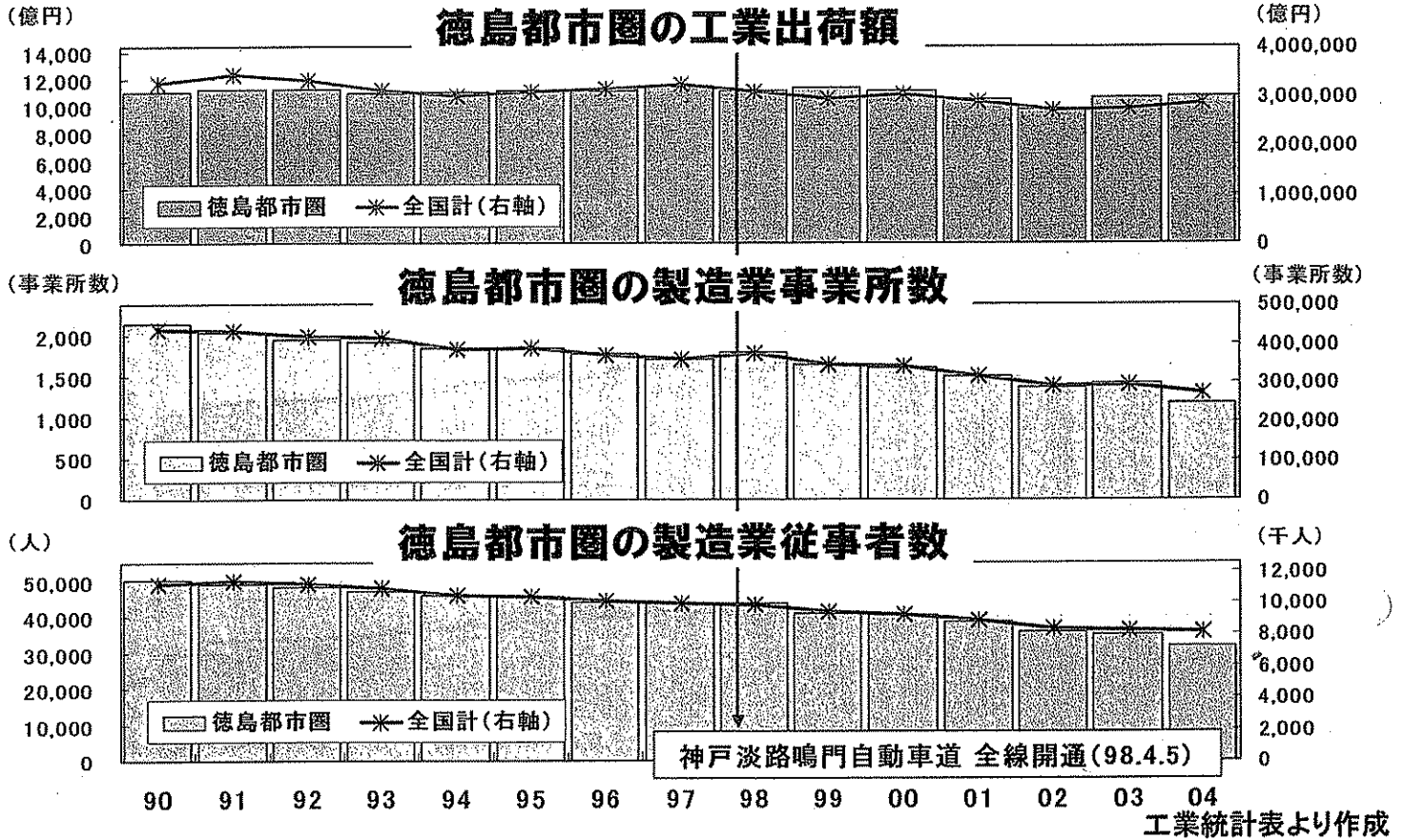
高速道路開通と工業①



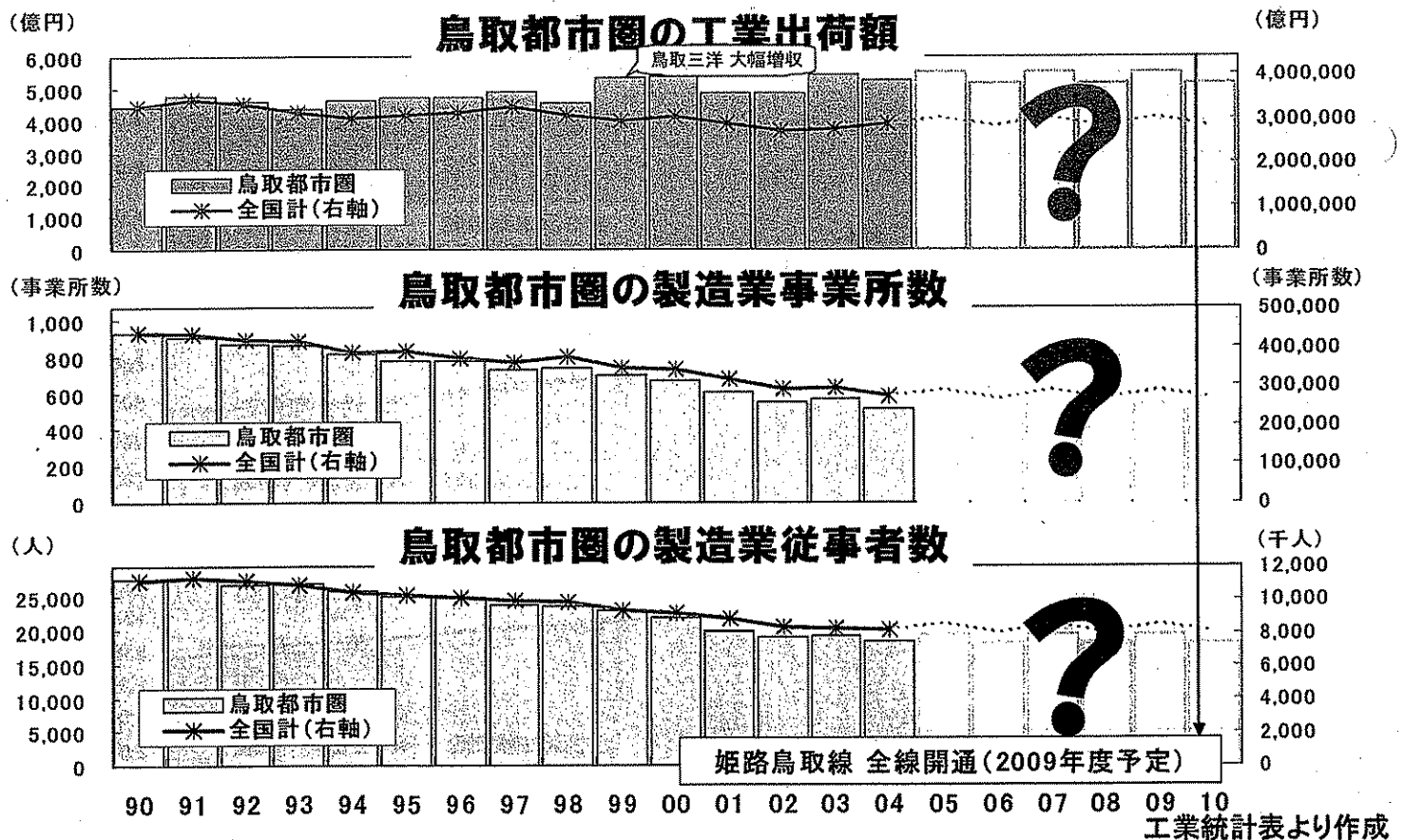
高速道路開通と工業②



高速道路開通と工業③



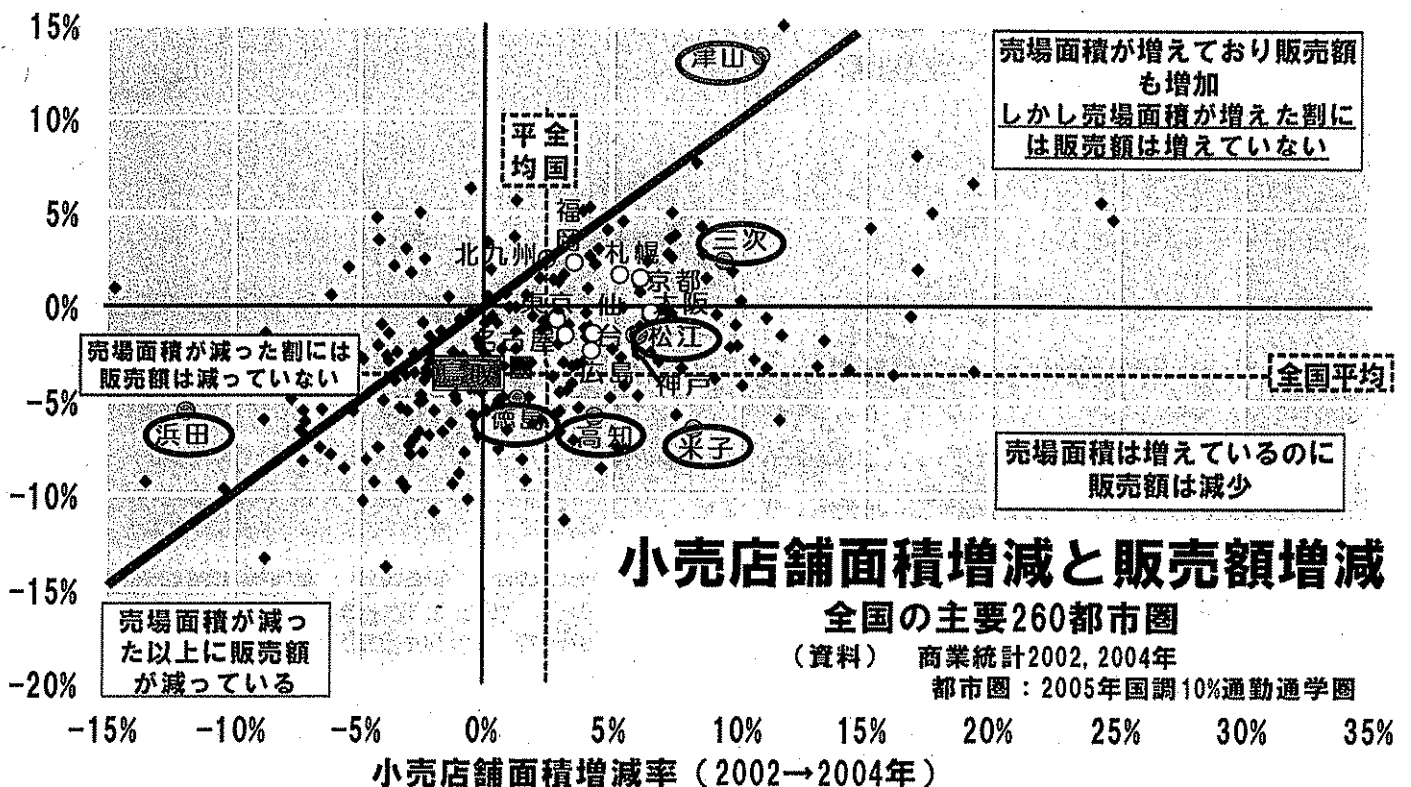
高速道路開通と工業④



5. 鳥取都市圏の商業

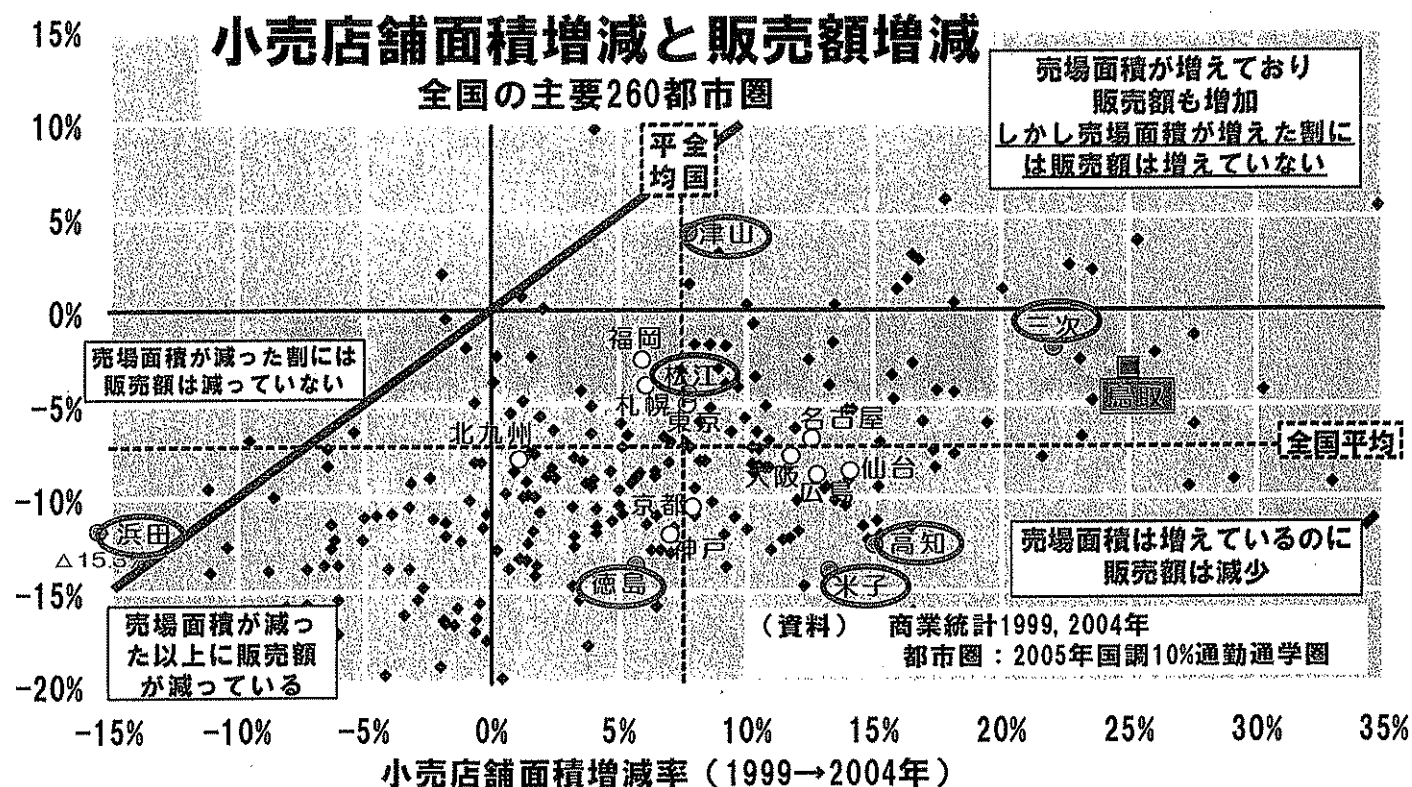
鳥取都市圏の商業①

小売販売額増減率（2002→2004年）



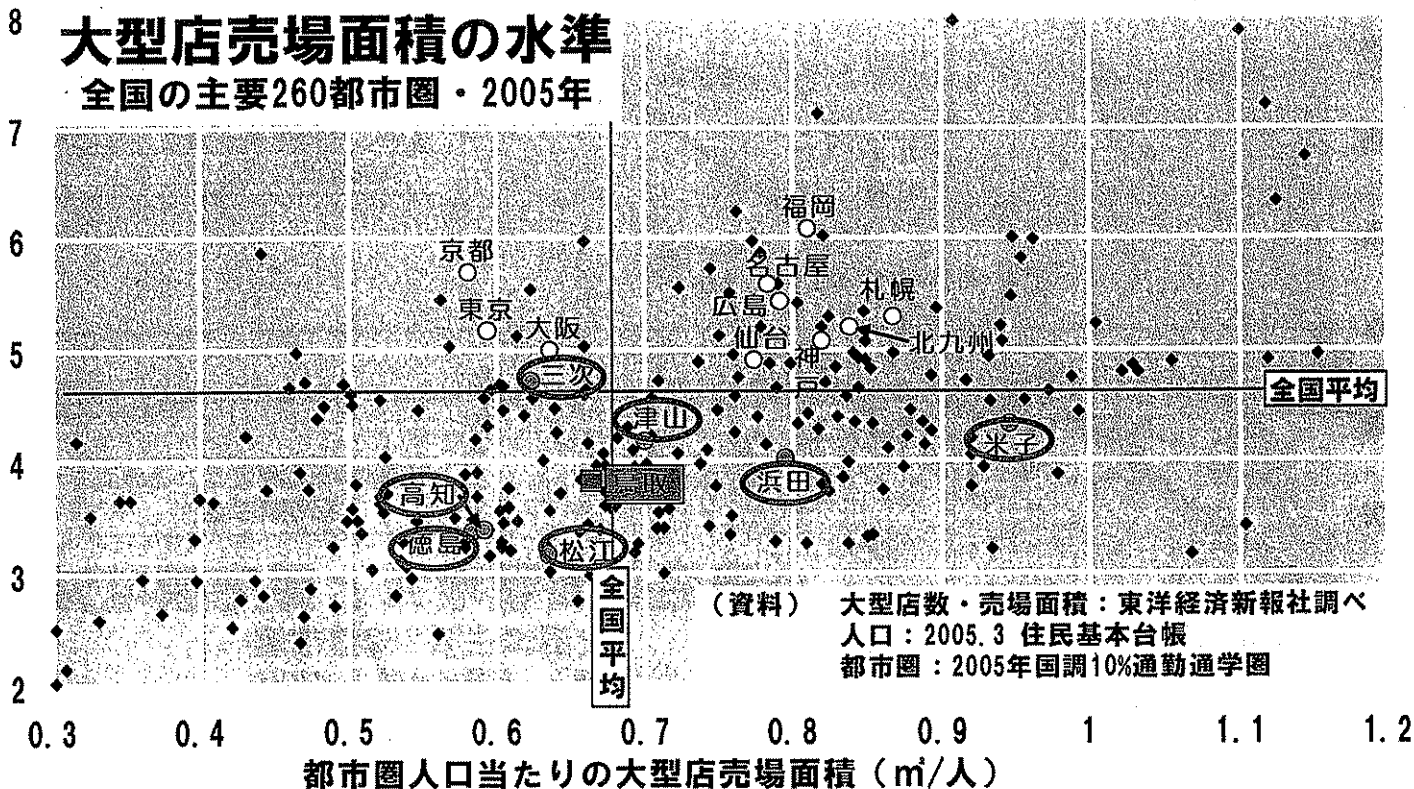
鳥取都市圏の商業②

小売販売額増減率（1999→2004年）

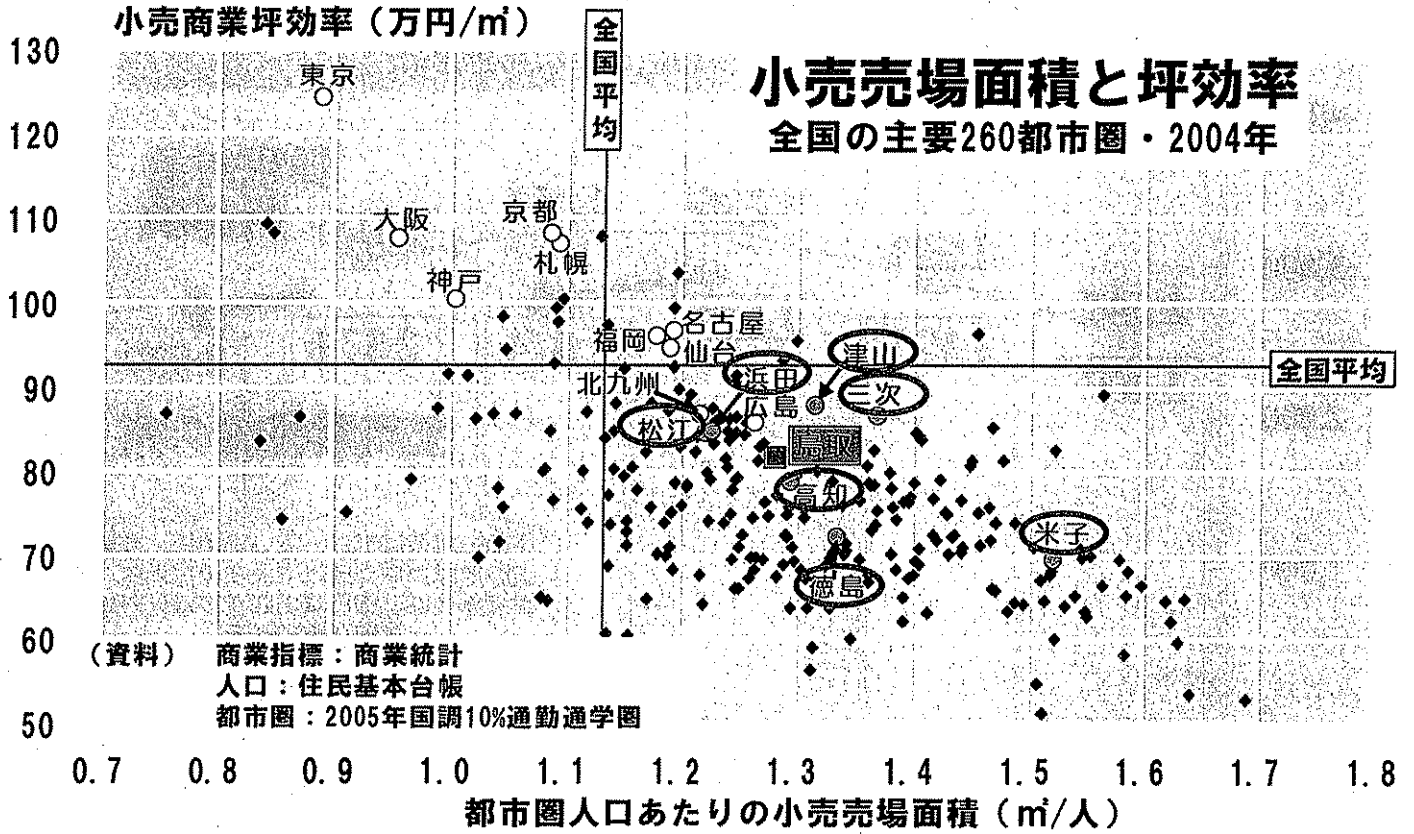


鳥取都市圏の商業③

大型店1店舗当たりの売場面積（千㎡）



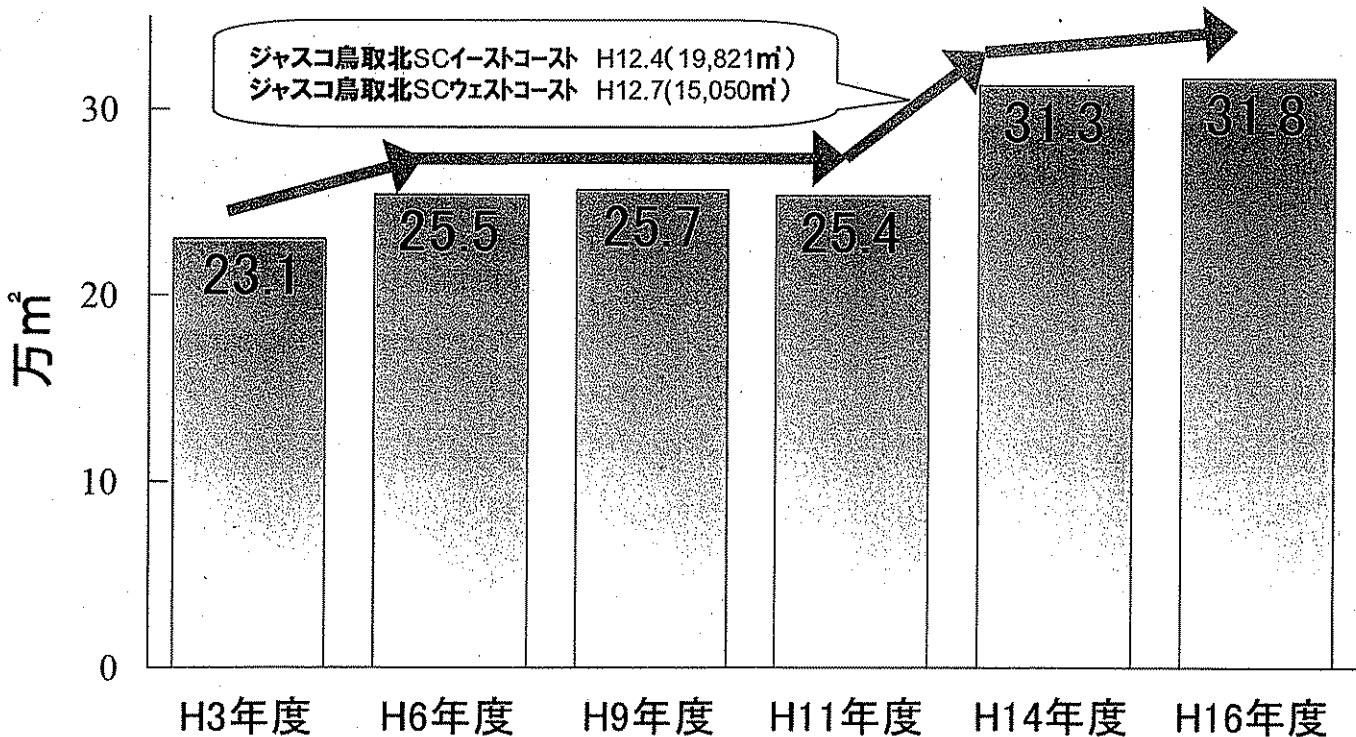
鳥取都市圏の商業④



増加してきた鳥取都市圏の商業床

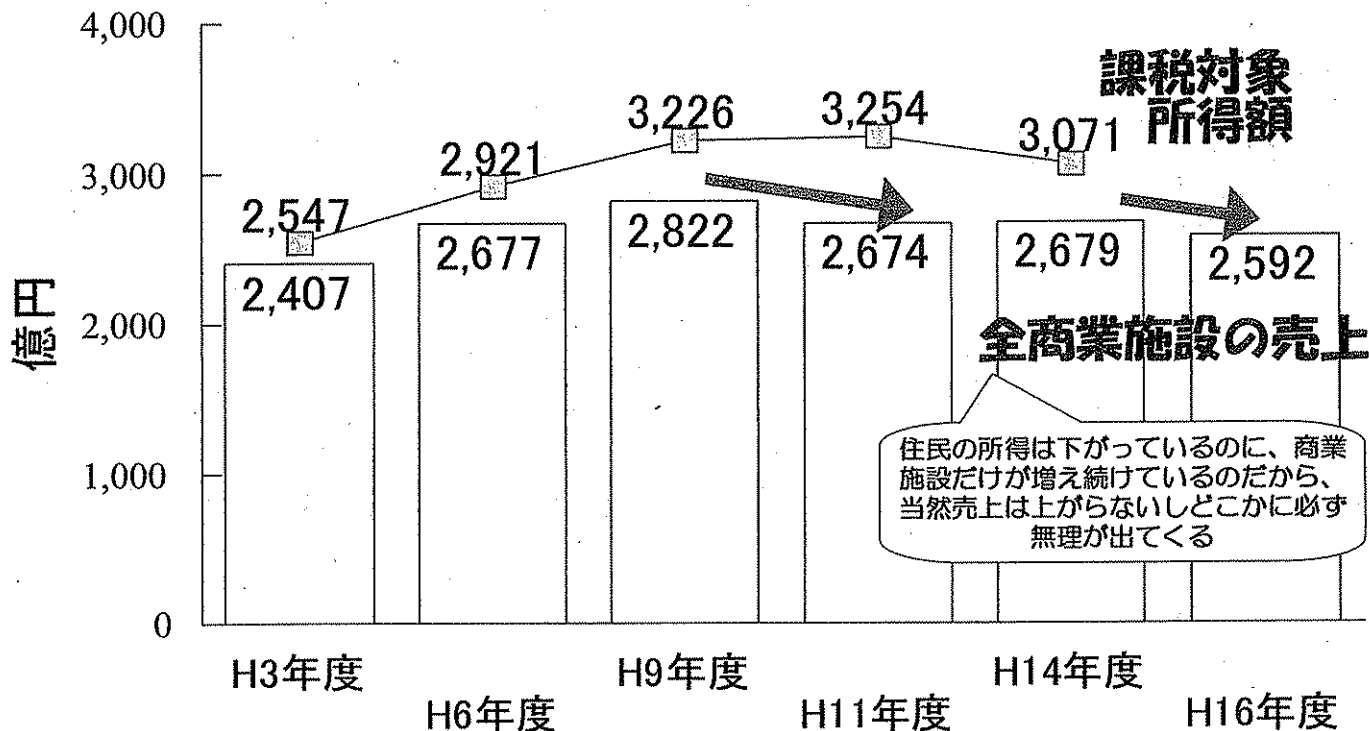
鳥取都市圏の小売商業の動向 ① 店舗面積

大型店から中小零細店までの全合計



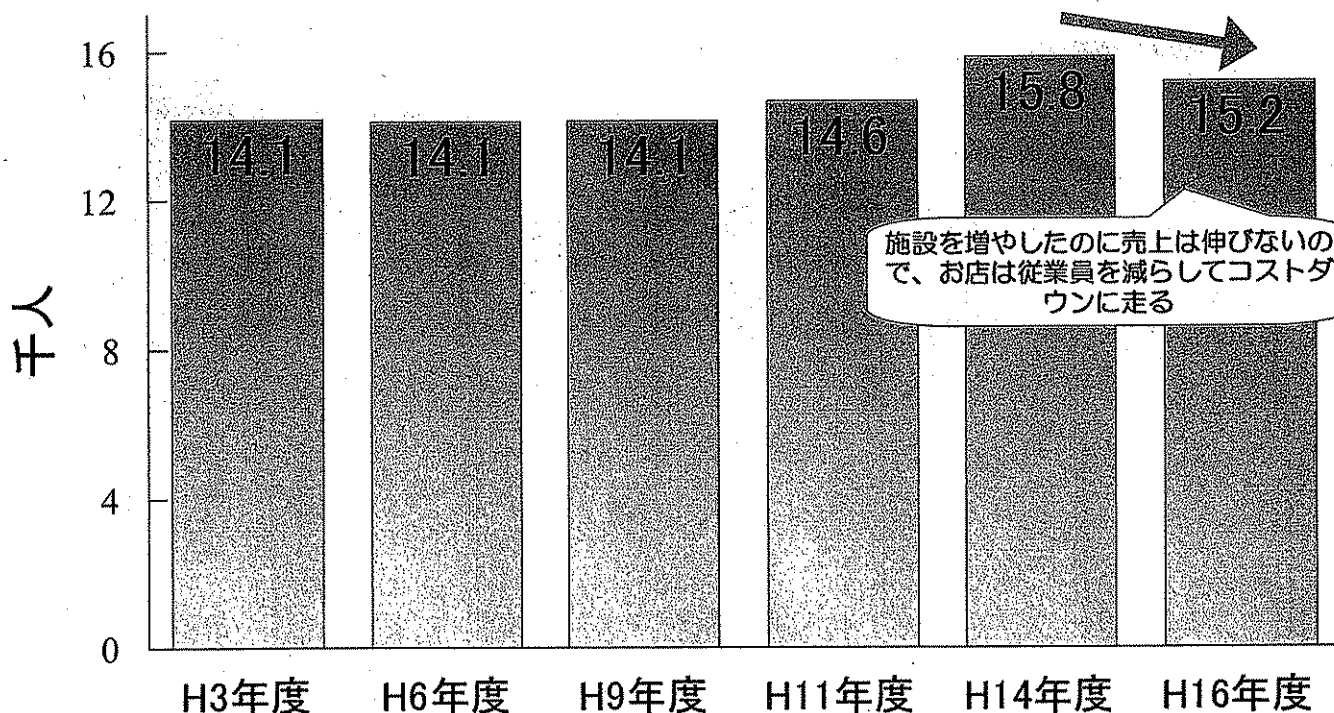
ところが減り始めた総売上

鳥取都市圏の小売商業の動向 ② 販売額
大型店から中小零細店までの全合計



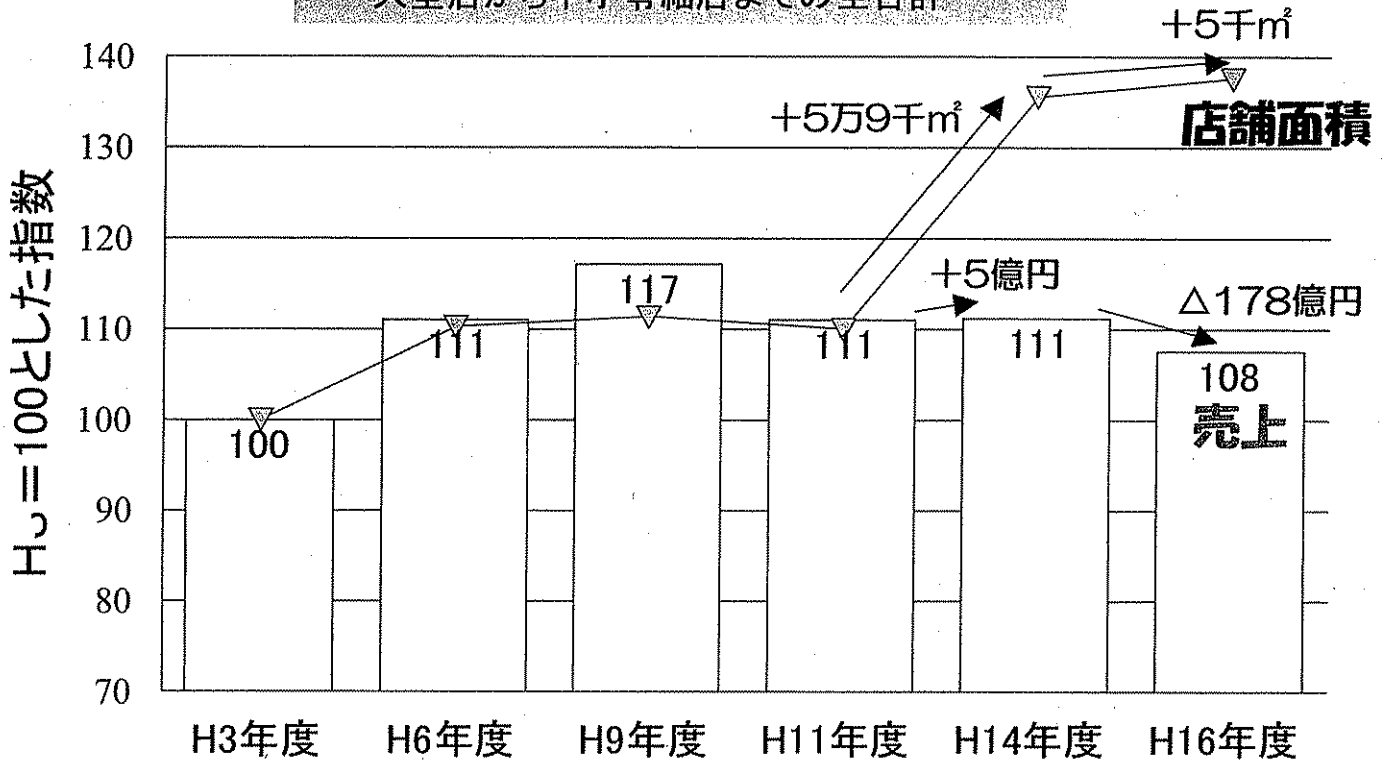
減り始めた商業での雇用

鳥取都市圏の小売商業の動向 ③ 従業者数
大型店から中小零細店までの全合計



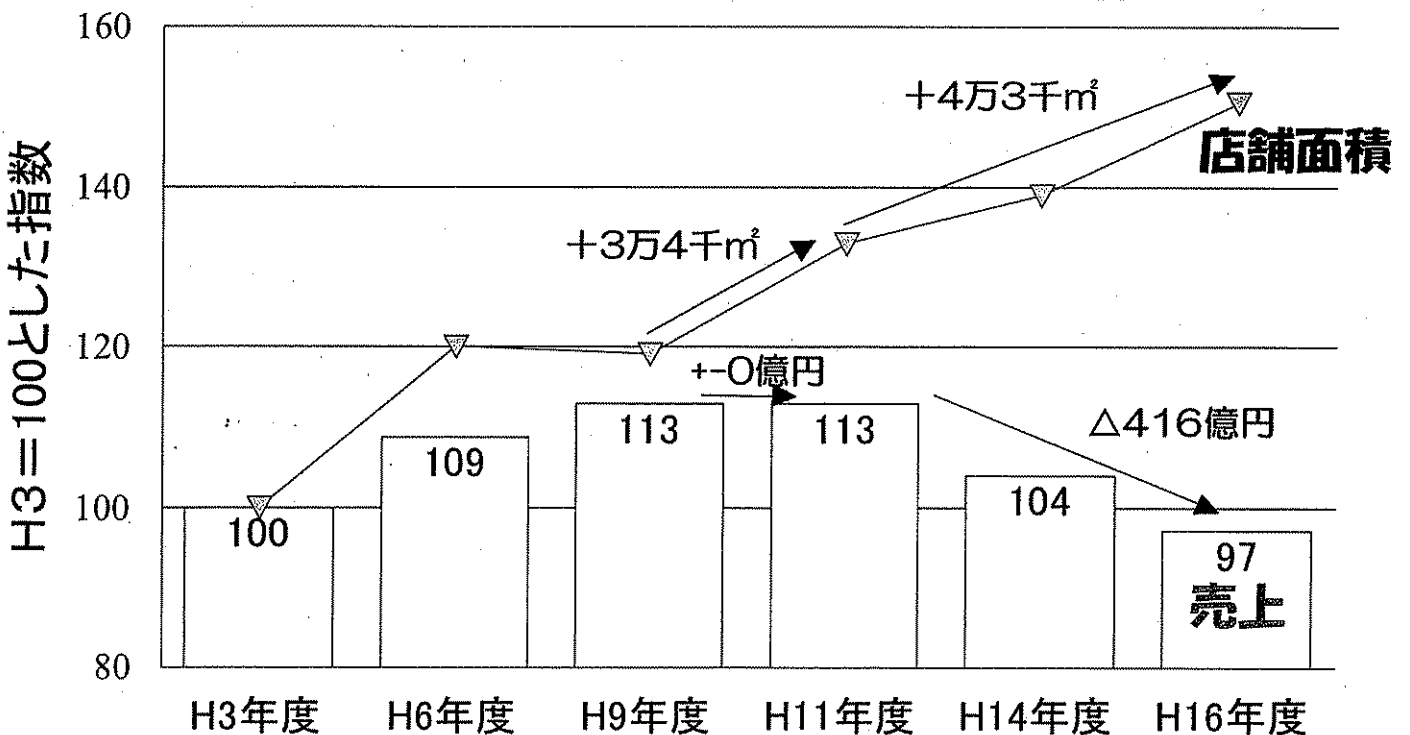
面積と売上を重ねてみると

鳥取都市圏の小売商業の動向 大型店から中小零細店までの全合計



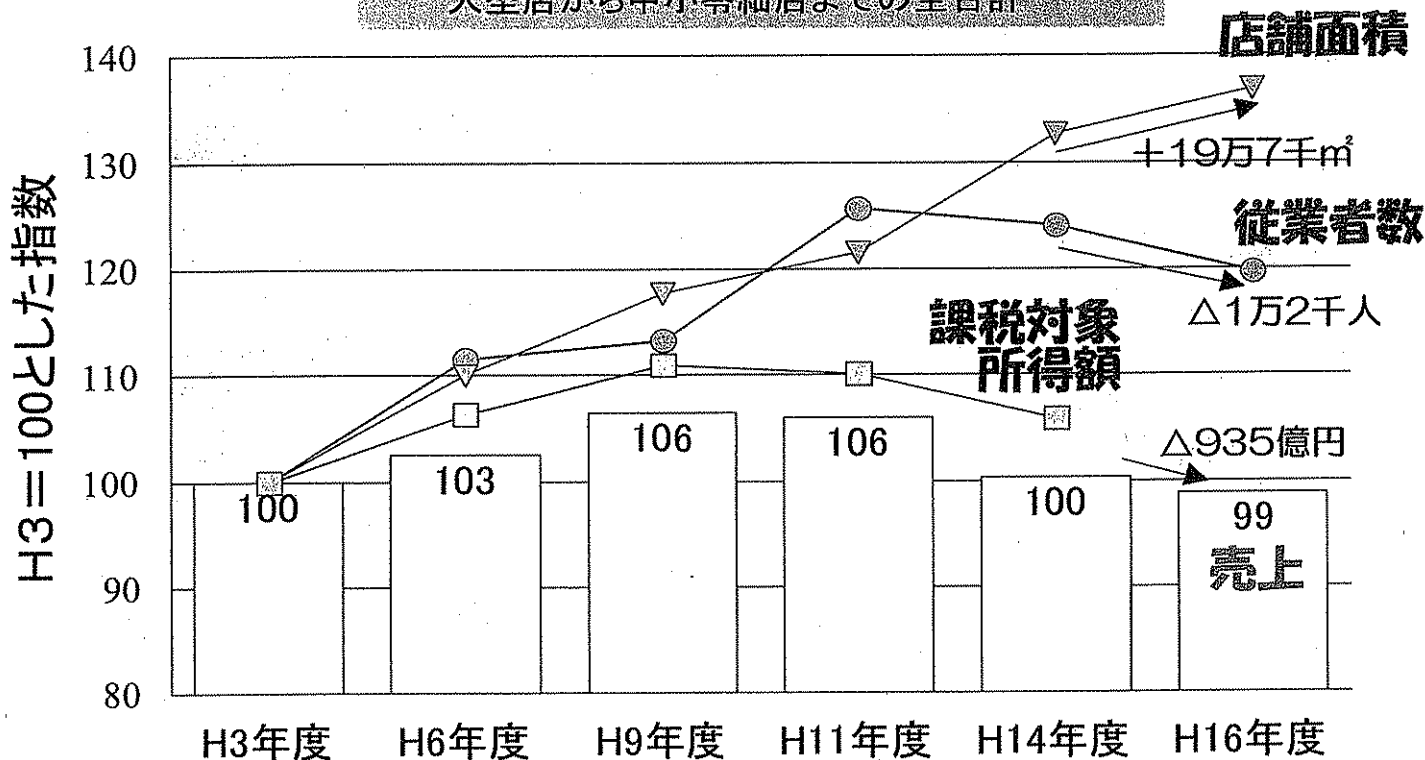
米子都市圏の状況はもっと極端

米子都市圏の小売商業の動向 大型店から中小零細店までの全合計



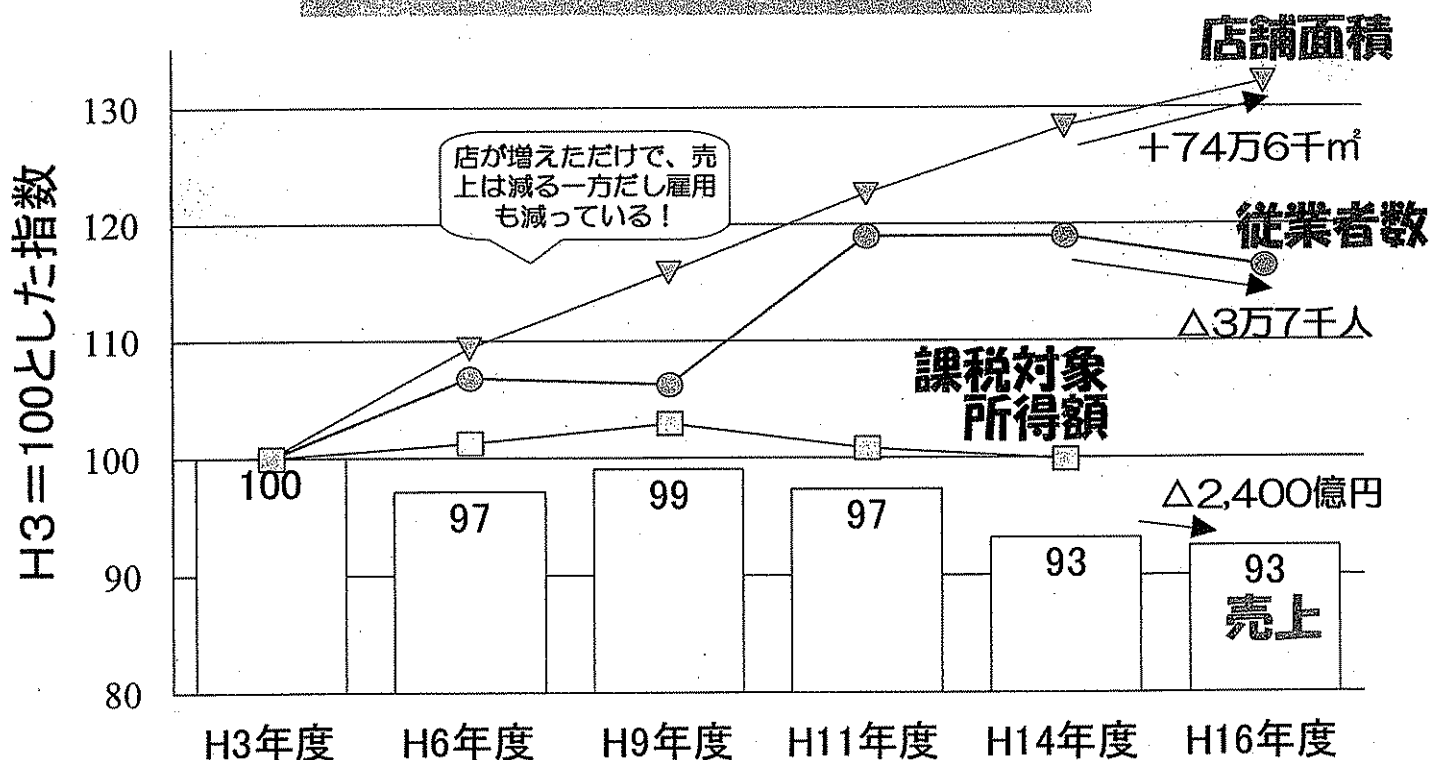
名古屋絶好調説の誤り

名古屋都市圏の小売商業の動向
大型店から中小零細店までの全合計



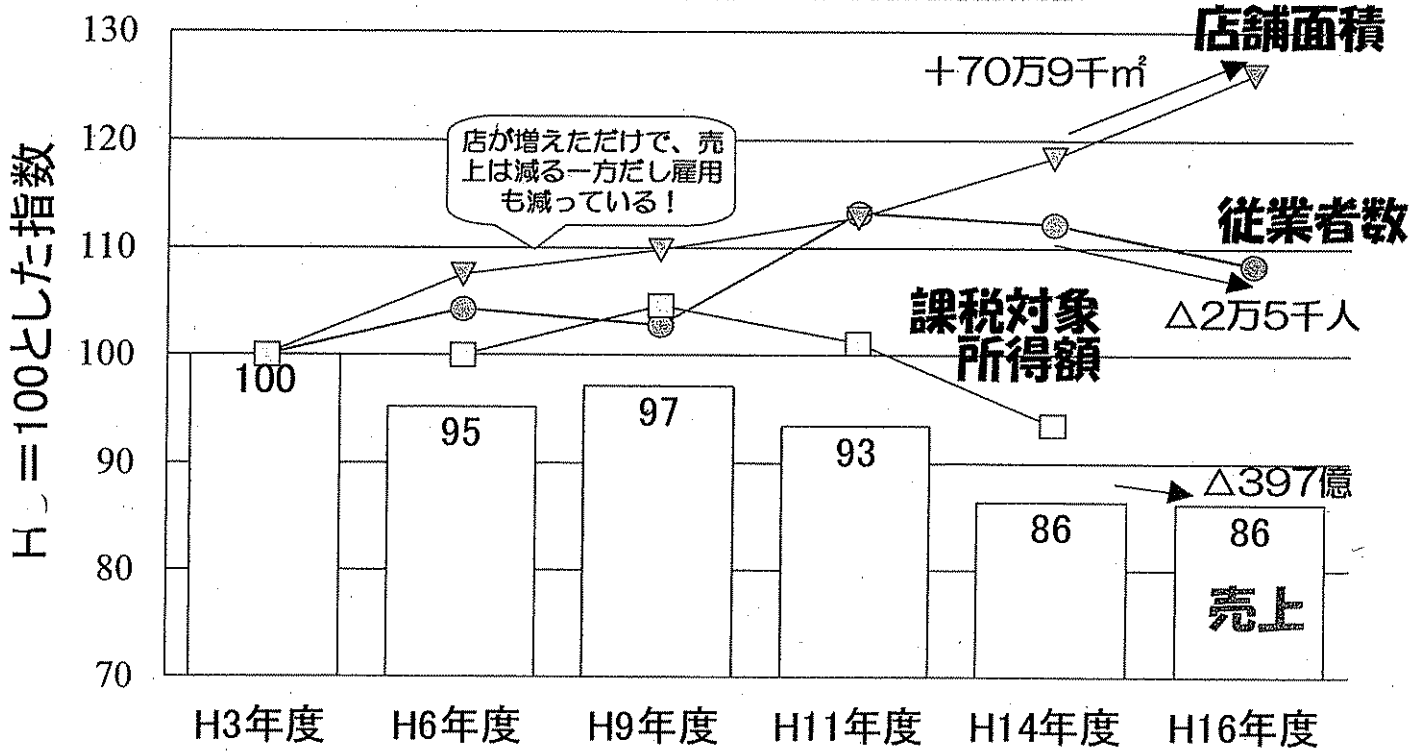
東京が一人勝ちというのはデマ

東京都市圏の小売商業の動向
大型店から中小零細店までの全合計



大阪はもちろん不調

大阪都市圏の小売商業の動向 大型店から中小零細店までの全合計

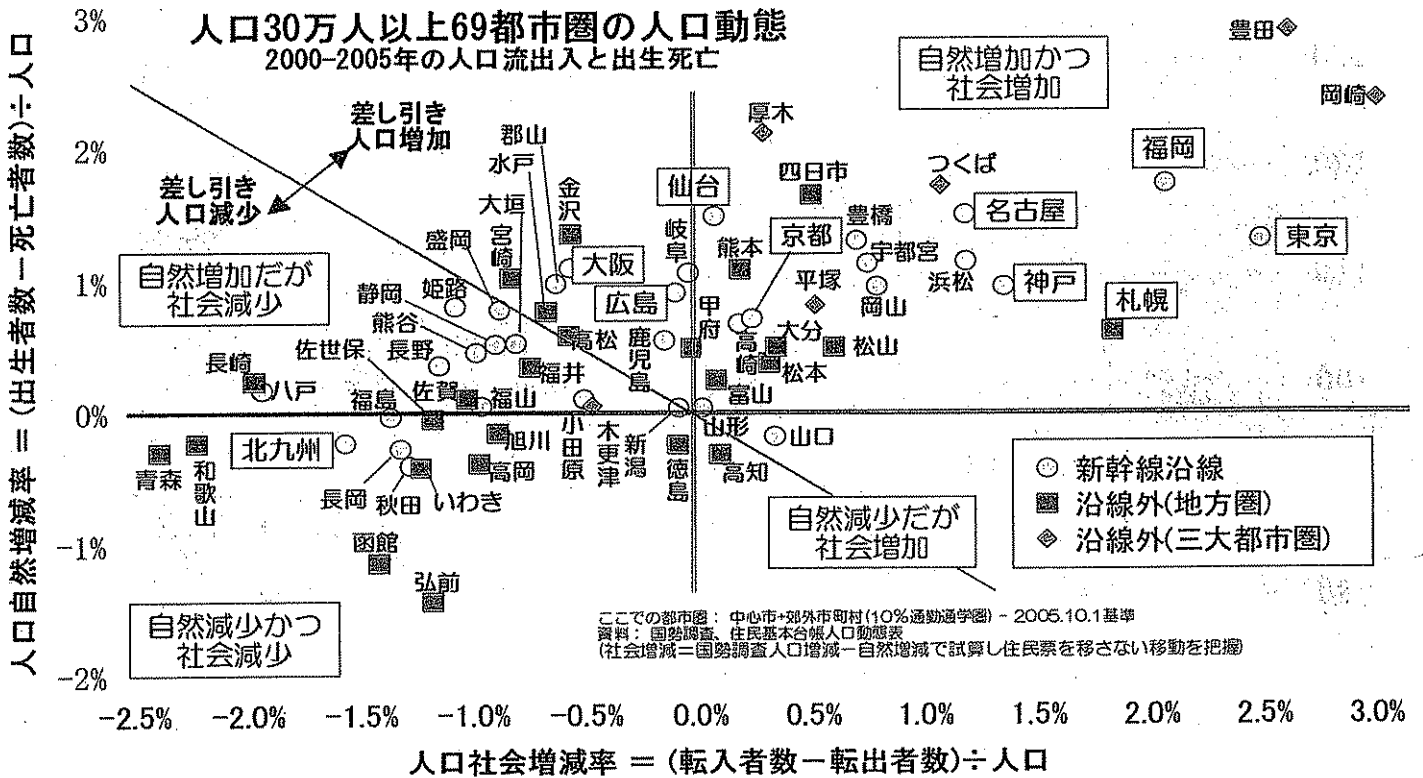


6. 鳥取都市圏の観光

交通と都市圏の勢いは無関係①

国勢調査から試算した都市圏の最新の人口動態

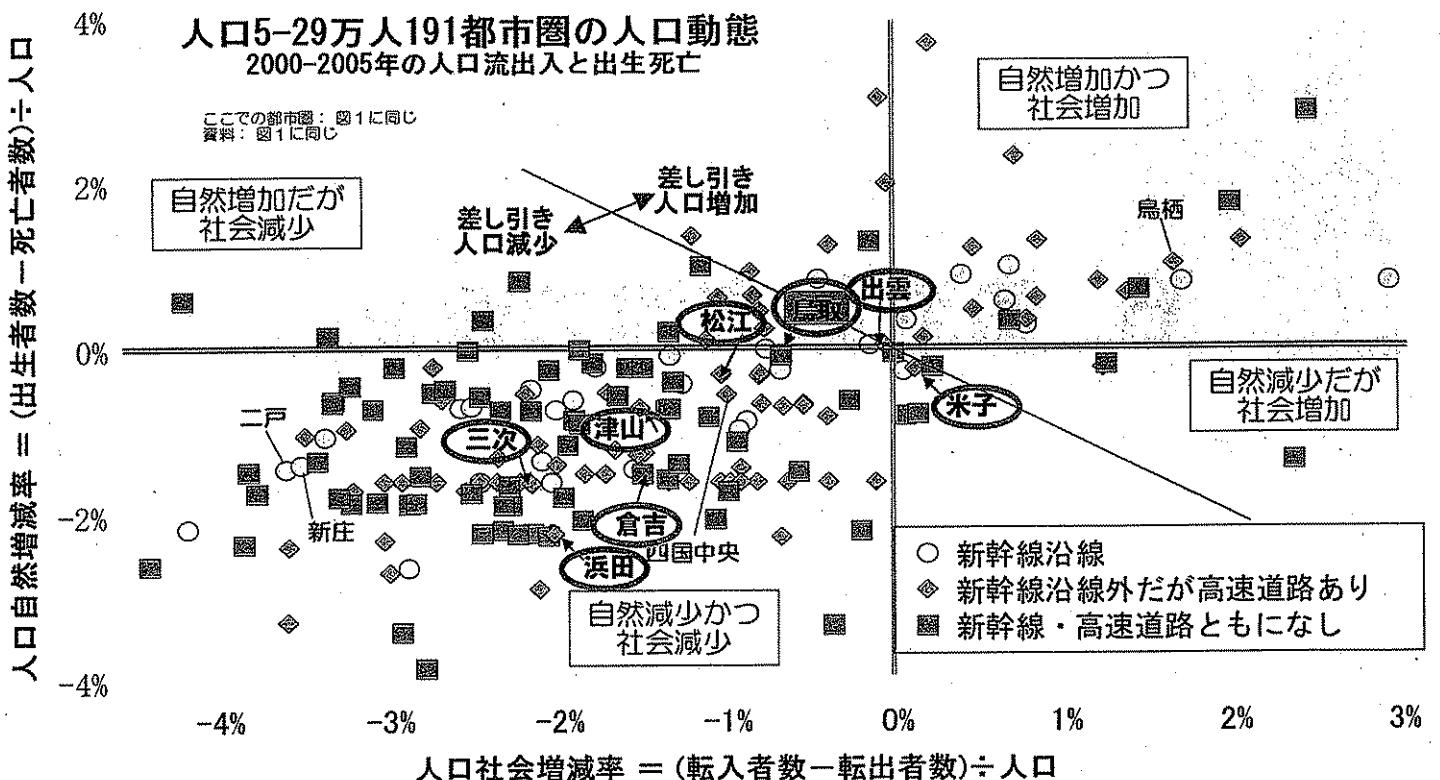
ここでの都市圏：中心市 + 周辺市町村 (2000年国勢調査に基づく10%通勤通学圏) - 平成合併後



交通と都市圏の勢いは無関係②

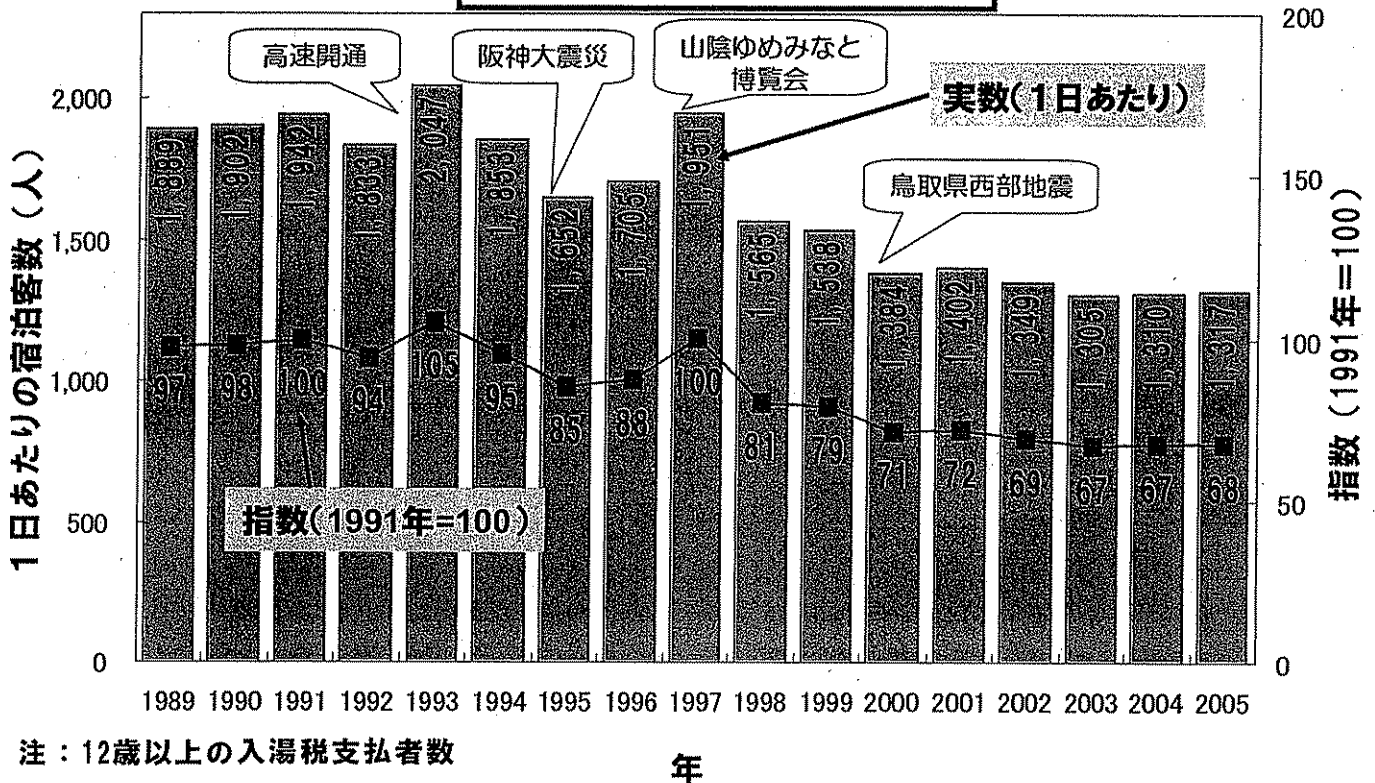
国勢調査から試算した都市圏の最新の人口動態

ここでの都市圏：中心市 + 周辺市町村 (2000年国勢調査に基づく10%通勤通学圏) - 平成合併後

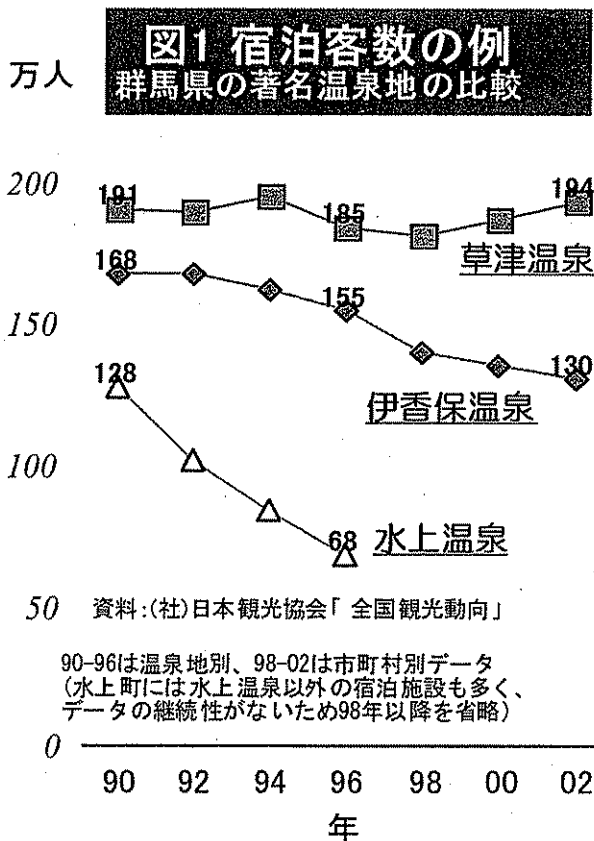


振るわない皆生温泉の観光

皆生温泉の宿泊数の推移



観光客数と高速交通の無関係



(参考) 高速交通網からの距離

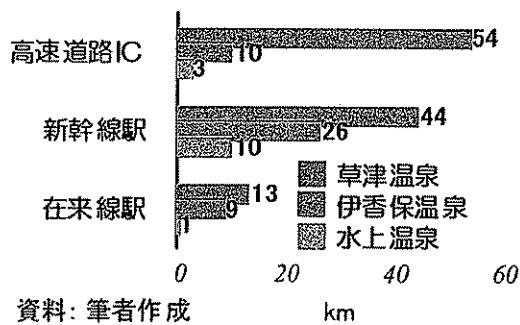
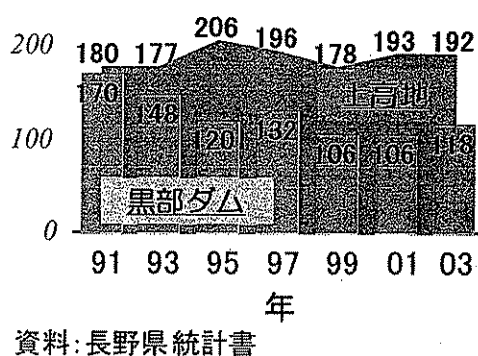
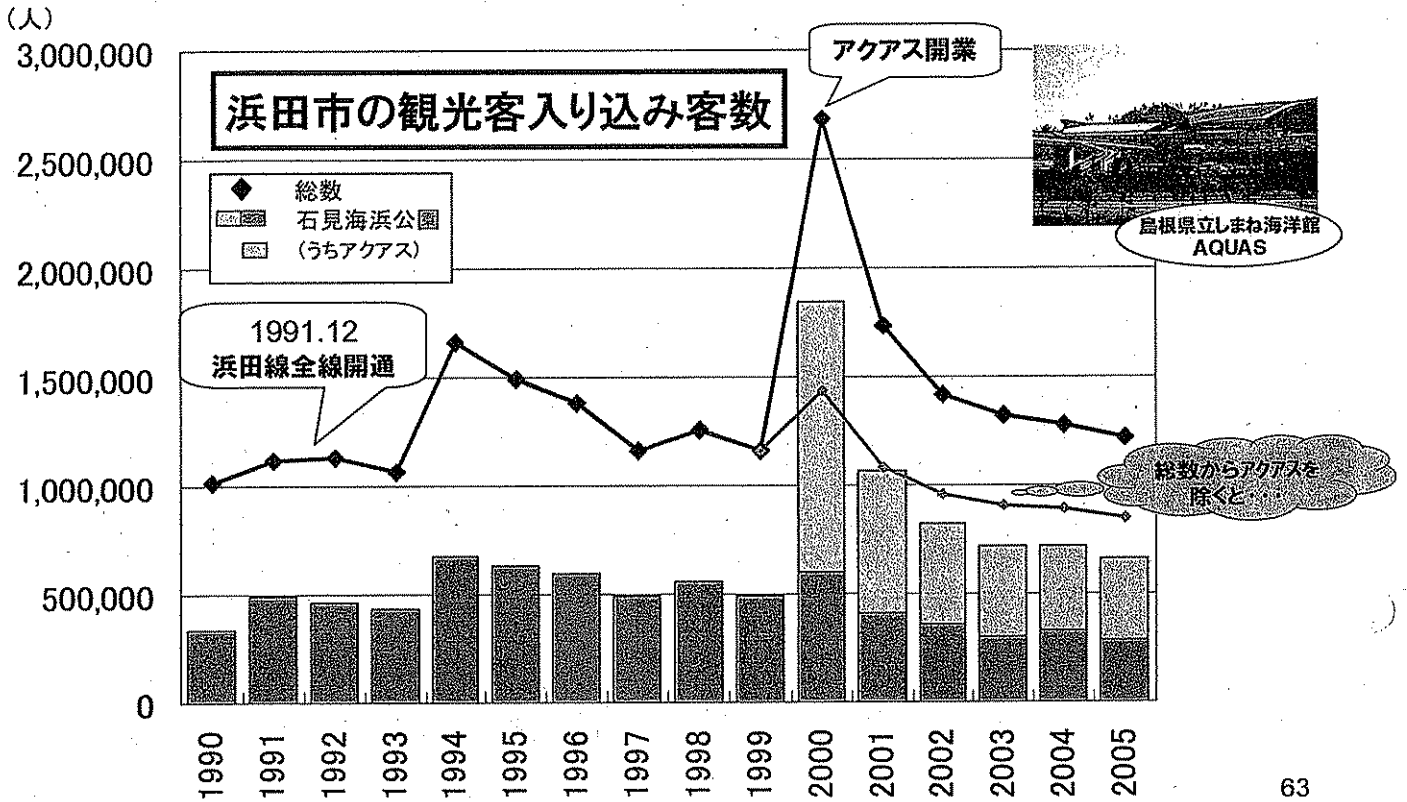


図2 入込客数の例

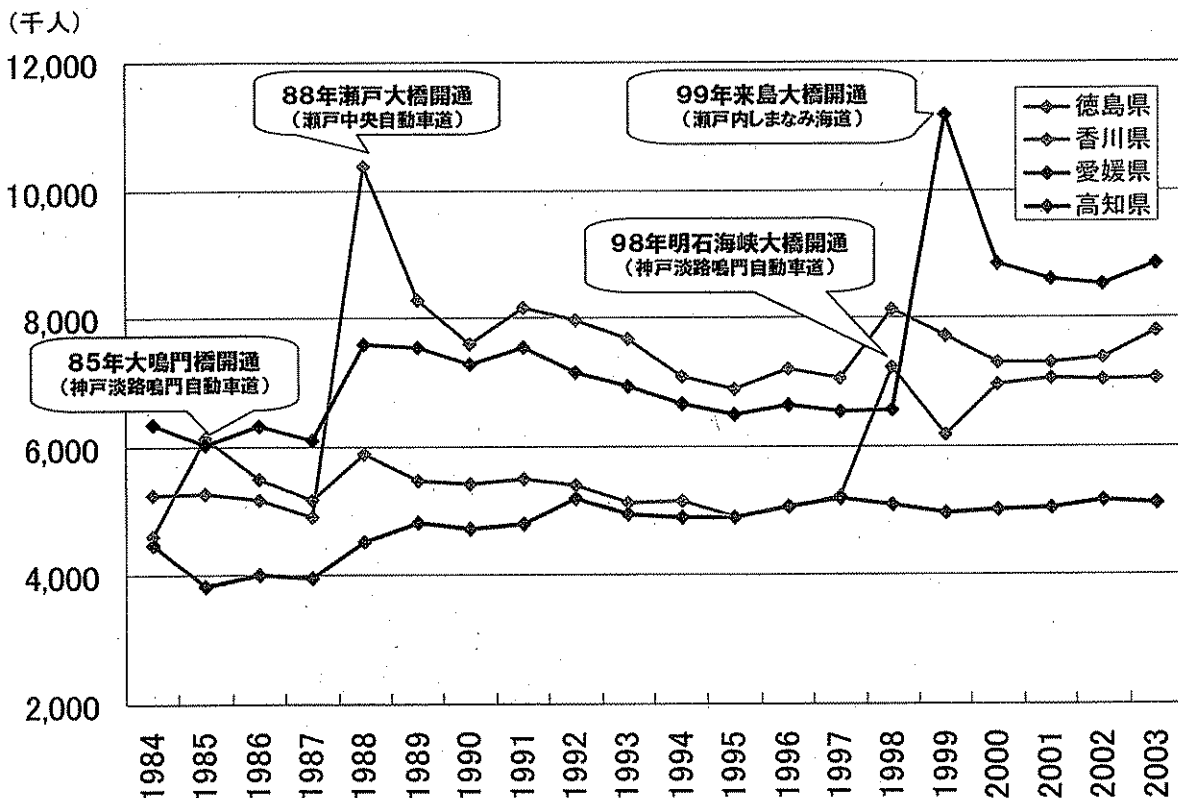


浜田道開通による集客効果



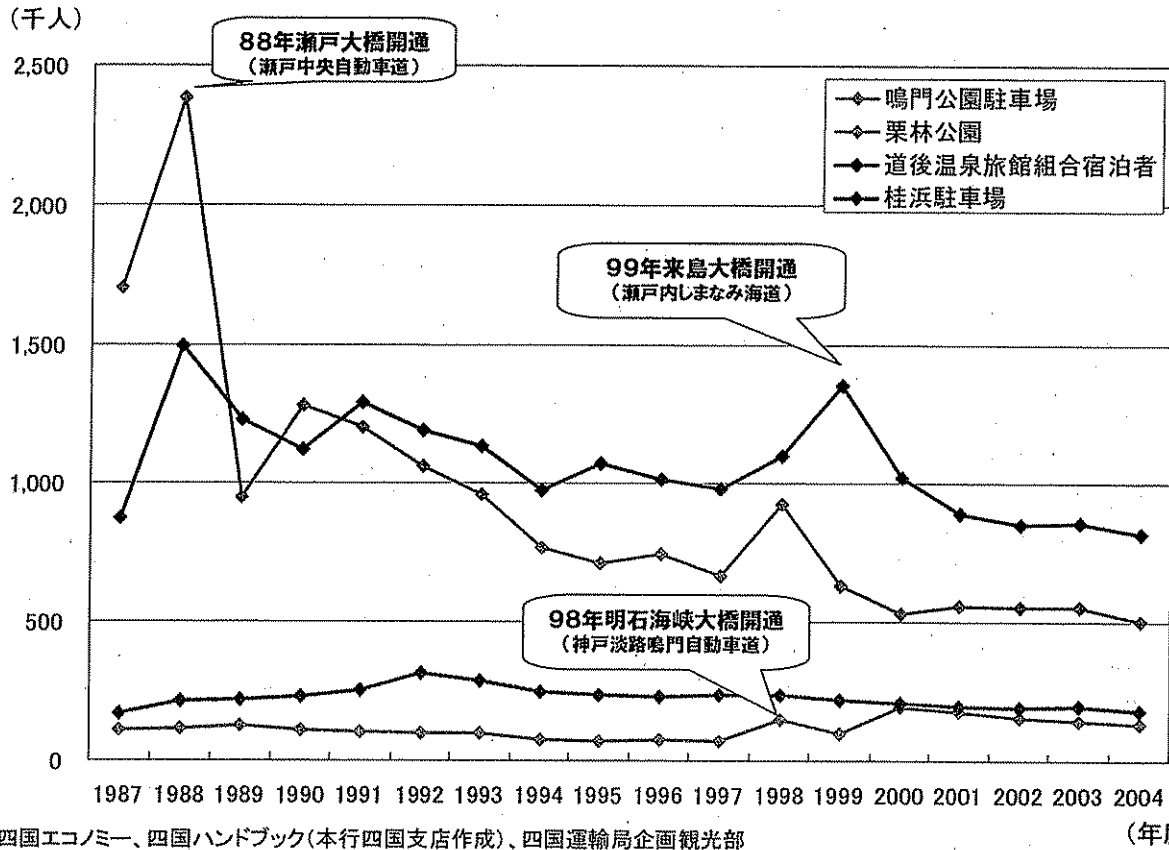
資料: 島根県観光振興課『島根県観光動態調査』

四国の観光客推移(県外客)



資料: 四国エコノミー、四国ハンドブック(本行四国支店作成)

四国の主な観光地の利用状況



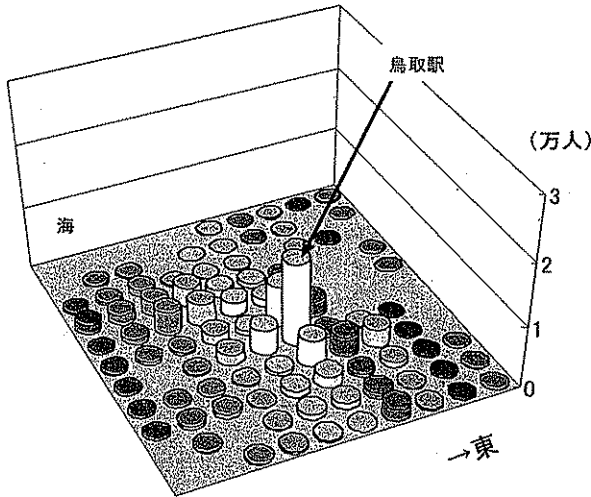
7. 鳥取市の市街地集積

中心市街地人口(鳥取市)

2000年国勢調査ベース

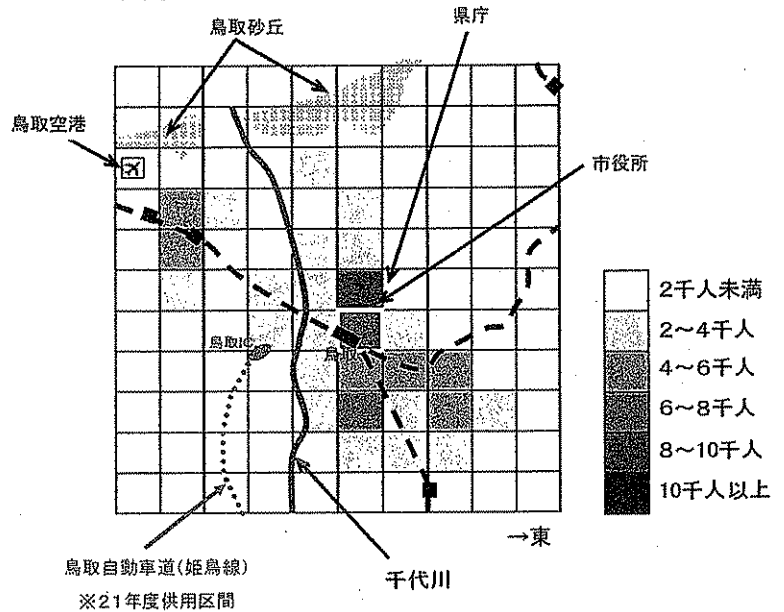
鳥取市(11×10km) 人口;200,744人(2000年国勢調査) ※旧鳥取市に合併町村を加えた人口

業務人口2001



このエリア内の業務人口 : 82,679人
<国勢調査、事業所・企業統計調査により作成>

夜間人口2000



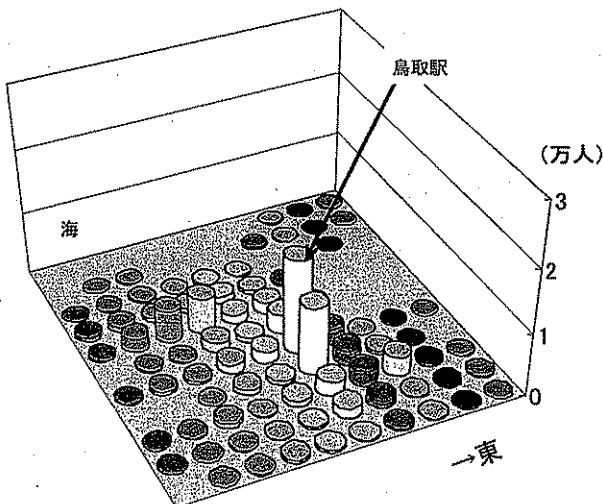
このエリア内の夜間人口 : 134,316人 67

中心市街地人口(鳥取市)

1995年国勢調査ベース

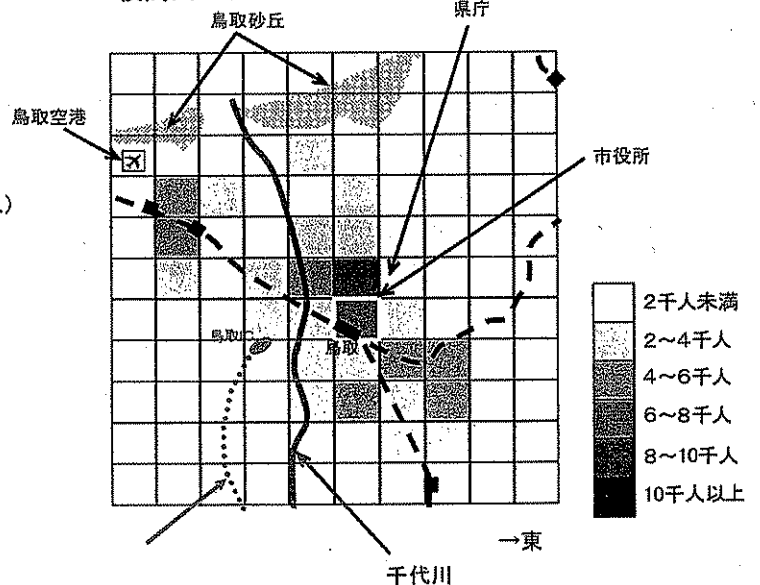
鳥取市(11×10km) 人口;197,959人(1995年国勢調査) ※旧鳥取市に合併町村を加えた人口

業務人口1996



このエリア内の業務人口 : 84,056人
<国勢調査、事業所・企業統計調査により作成>

夜間人口1995

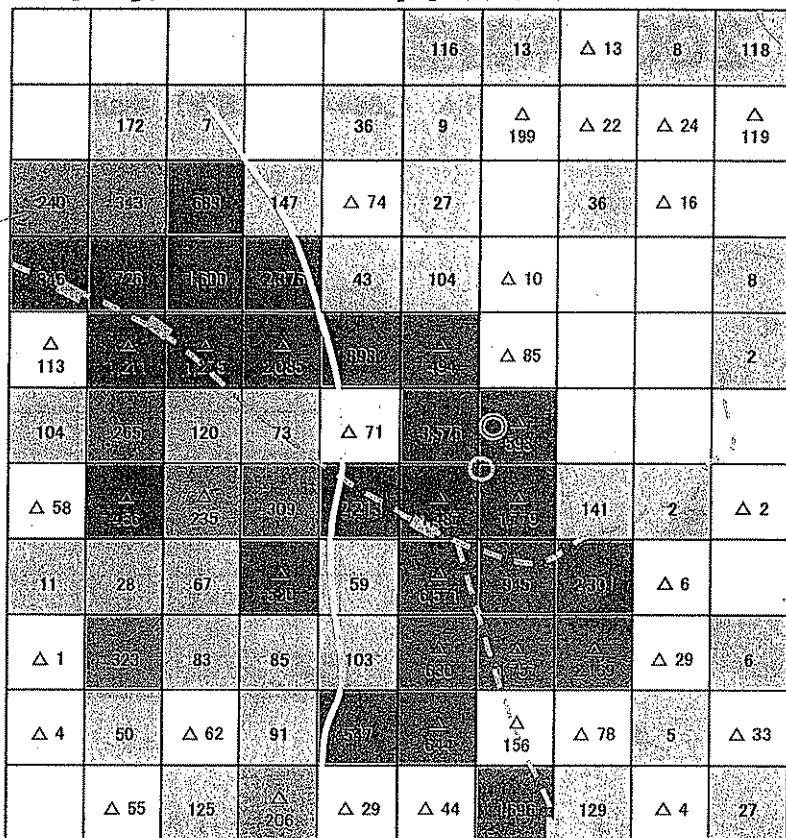


このエリア内の夜間人口 : 131,128人 68

業務人口増減(96-01)

鳥取市
(11×10km)

鳥取空港



このエリア内の業務人口増減
Δ1,377人(Δ1.6%)

→東

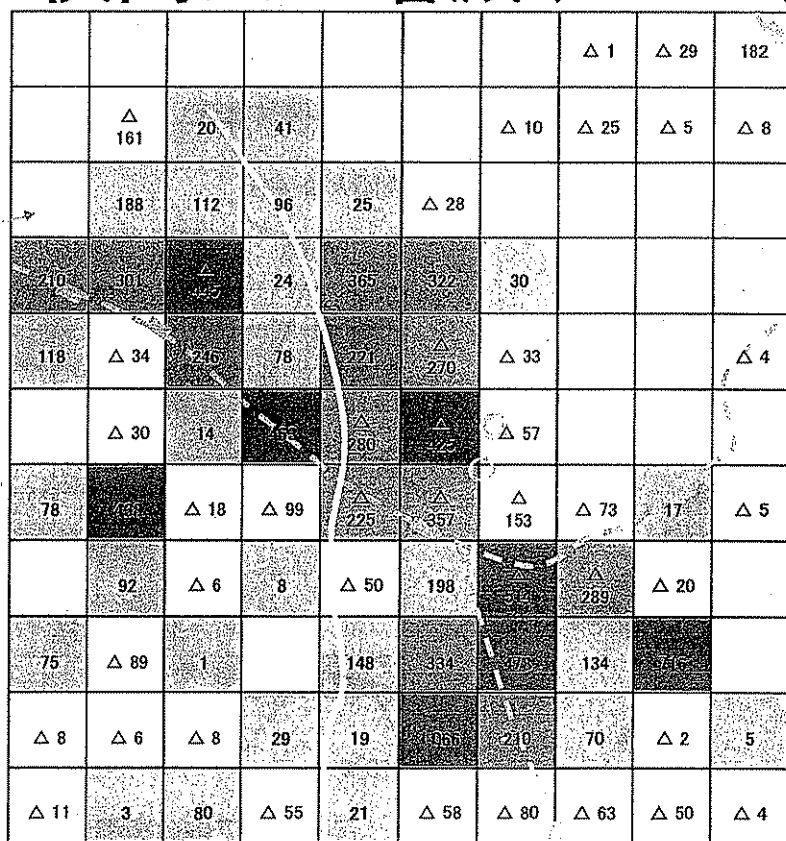
69

<事業所・企業統計調査より作成>

夜間人口増減(95-00)

鳥取市
(11×10km)

鳥取空港



このエリア内の夜間人口増減
+3,188人(+2.4%)

→東

70

<国勢調査より作成>

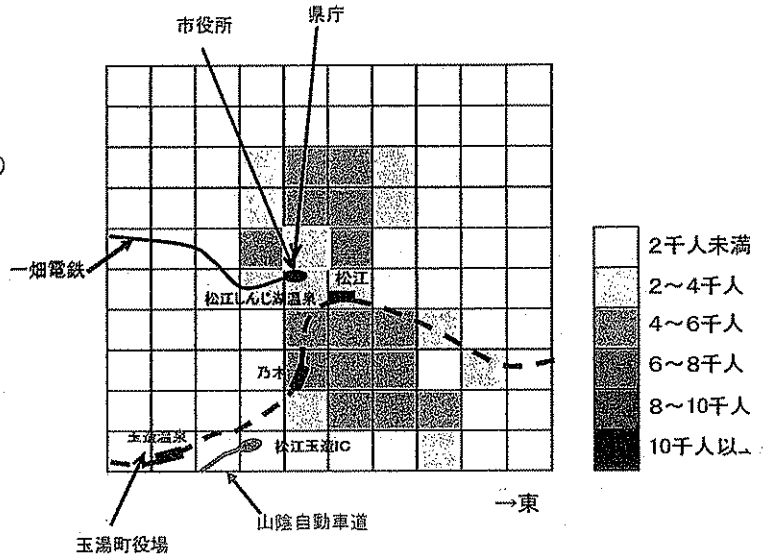
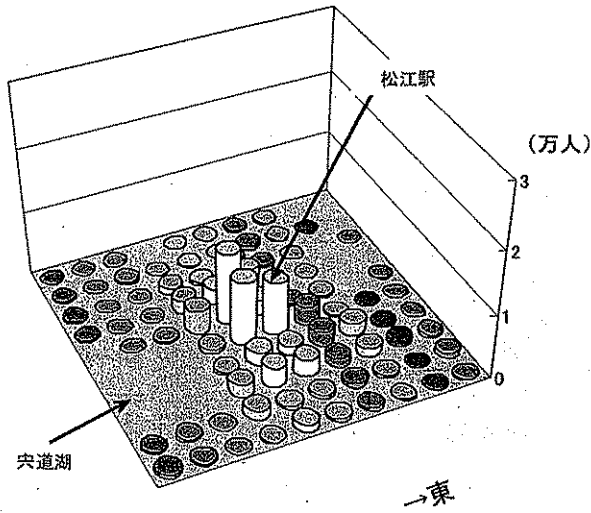
中心市街地人口(松江市)

2000年国勢調査ベース

松江市(10×10km) 人口;199,289人(2000年国勢調査) ※旧松江市に合併町村を加えた人口

業務人口2001

夜間人口2000



このエリア内の業務人口 : 86,738人

このエリア内の夜間人口 : 140,856人

<国勢調査、事業所・企業統計調査により作成>

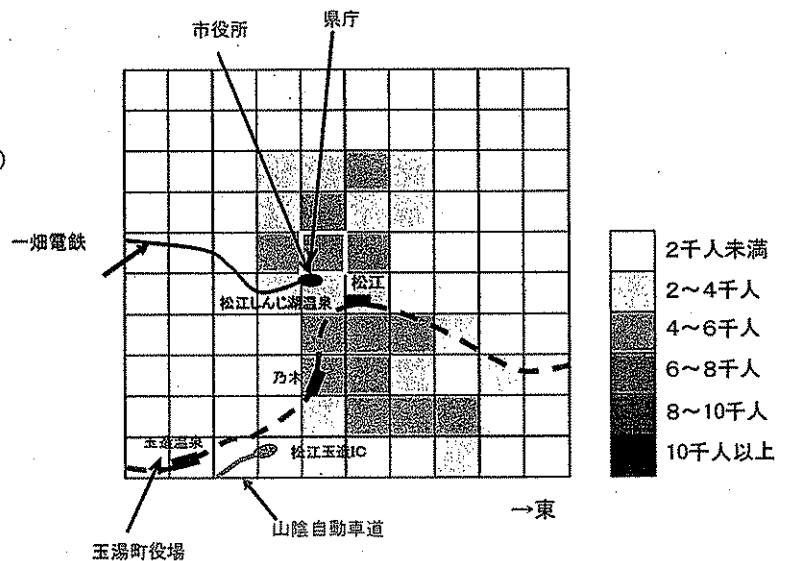
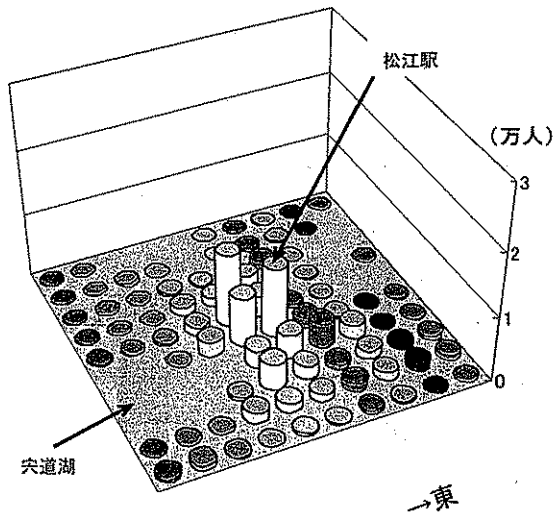
中心市街地人口(松江市)

1995年国勢調査ベース

松江市(10×10km) 人口;195,353人(1995年国勢調査) ※旧松江市に合併町村を加えた人口

業務人口1996

夜間人口1995



このエリア内の業務人口 : 85,416人

このエリア内の夜間人口 : 134,945人

<国勢調査、事業所・企業統計調査により作成>

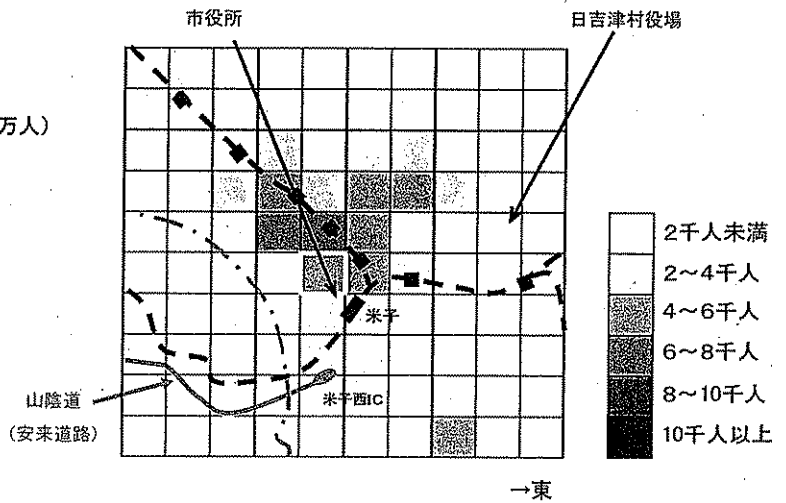
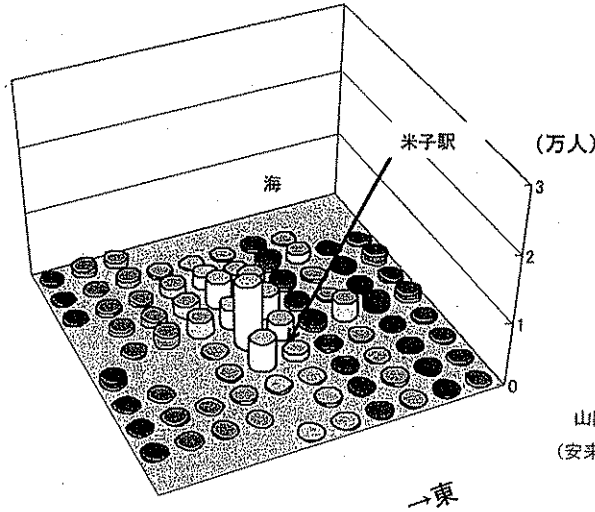
中心市街地人口(米子市)

2000年国勢調査ベース

米子市(10×10km) 人口;147,837人 (2000年国勢調査) ※旧米子市に合併町を加えた人口

業務人口2001

夜間人口2000



このエリア内の業務人口 : 74,600人

このエリア内の夜間人口 : 125,529人

13

<国勢調査、事業所・企業統計調査により作成>

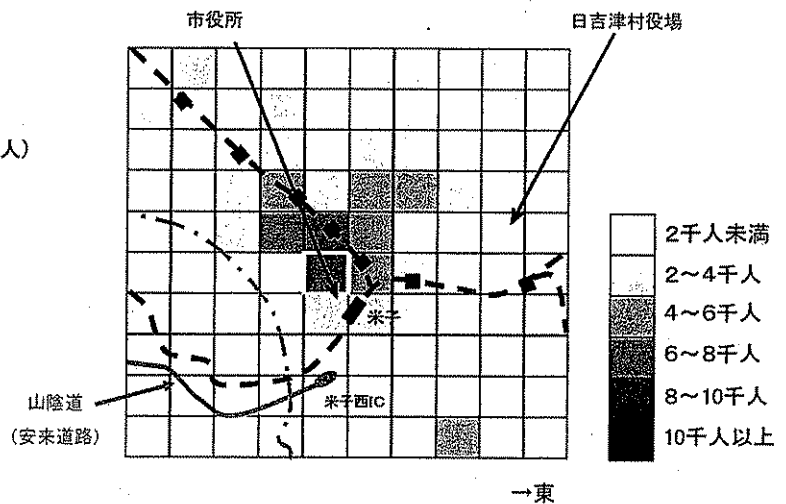
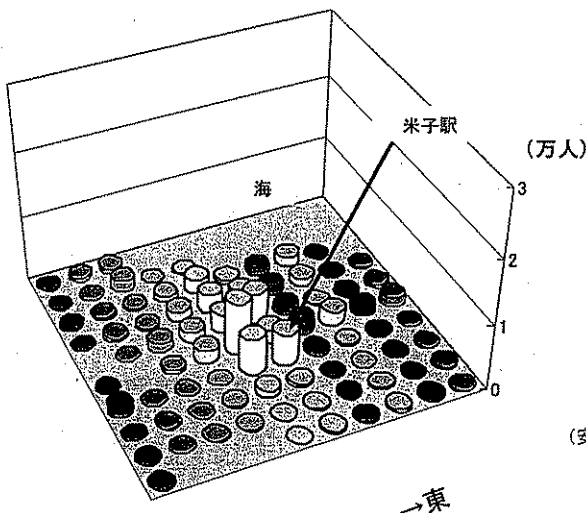
中心市街地人口(米子市)

1995年国勢調査ベース

米子市(10×10km) 人口;143,856人 (1995年国勢調査) ※旧米子市に合併町を加えた人口

業務人口1996

夜間人口1995



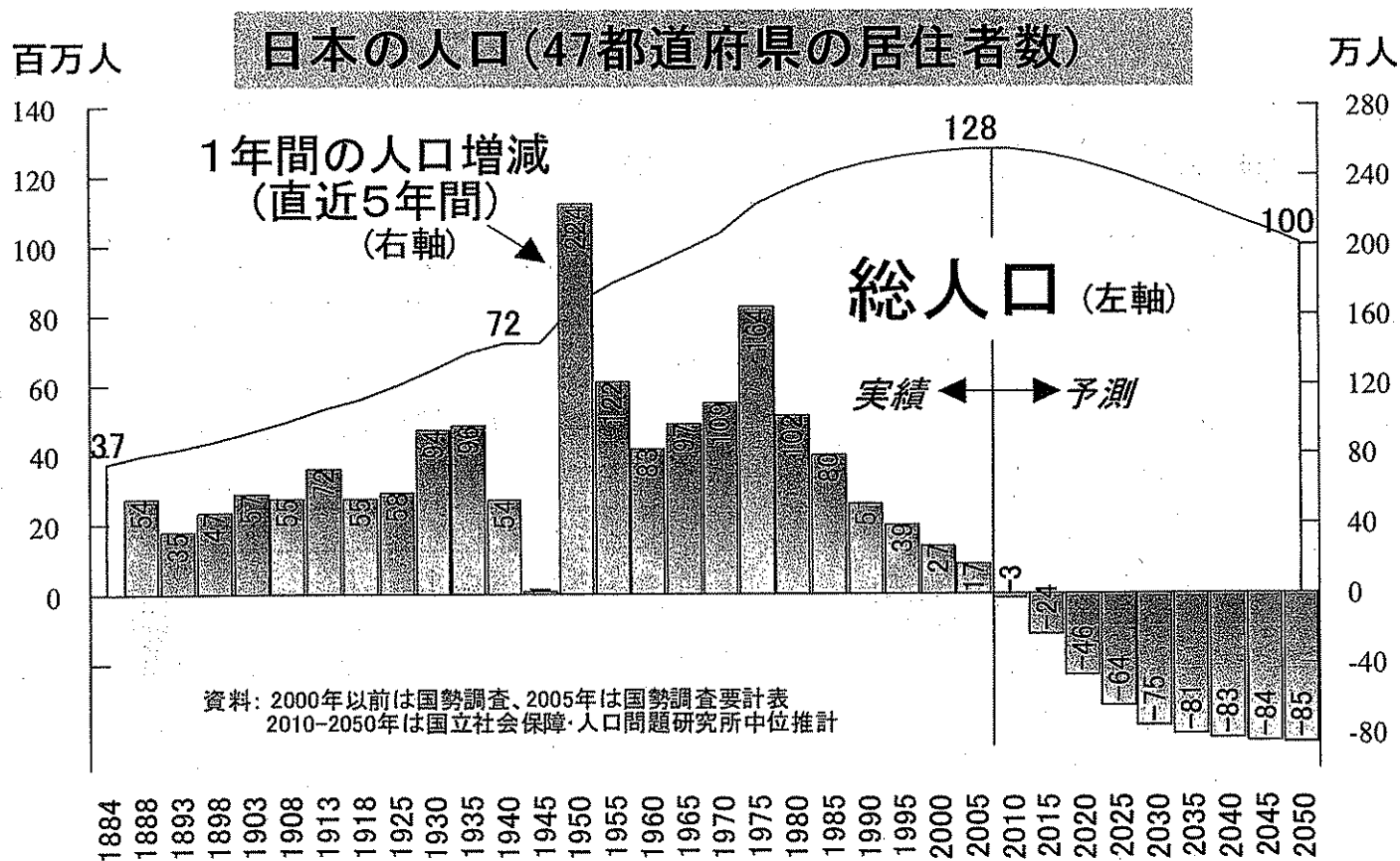
このエリア内の業務人口 : 72,838人

このエリア内の夜間人口 : 121,594人

<国勢調査、事業所・企業統計調査により作成>

8. 鳥取市の財政

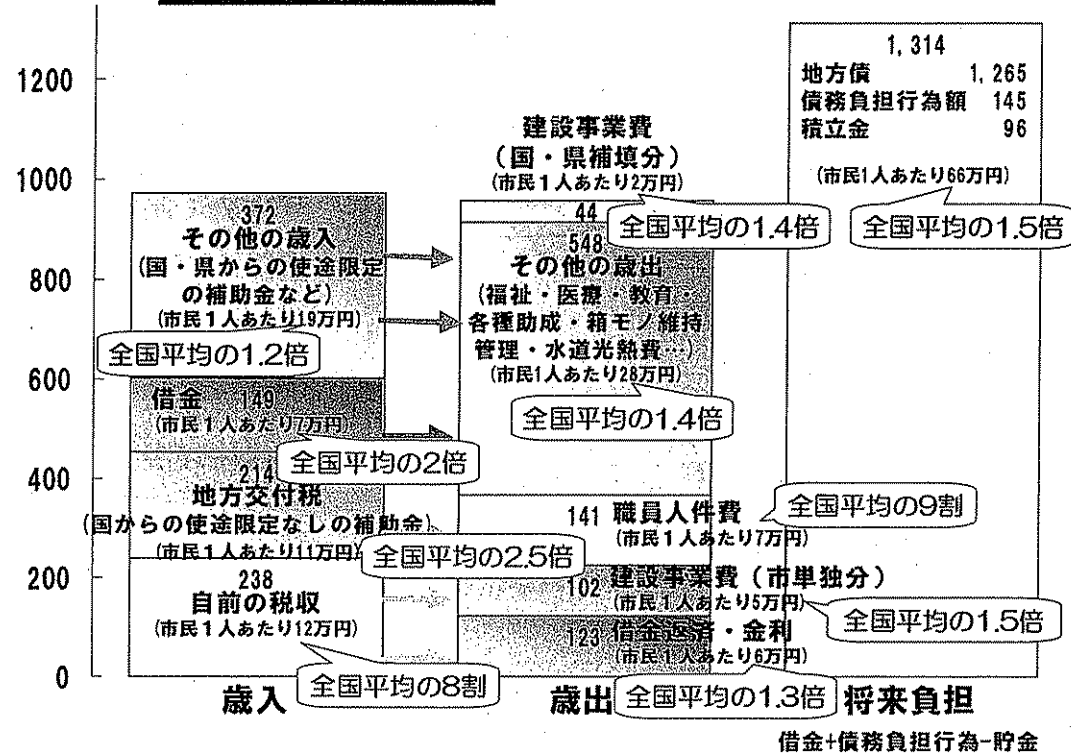
恐れていた人口減少社会が到来！



鳥取市の決算 (2004年度)

鳥取市の普通会計 (2004年度)

財政力指数：0.52
人口：199,263人



自前税収は収入の1/4で、国からの交付税への依存度が極めて高い

自前の税収では、借金返済と、自前の工事と、人件費のごく一部しかまかなえない

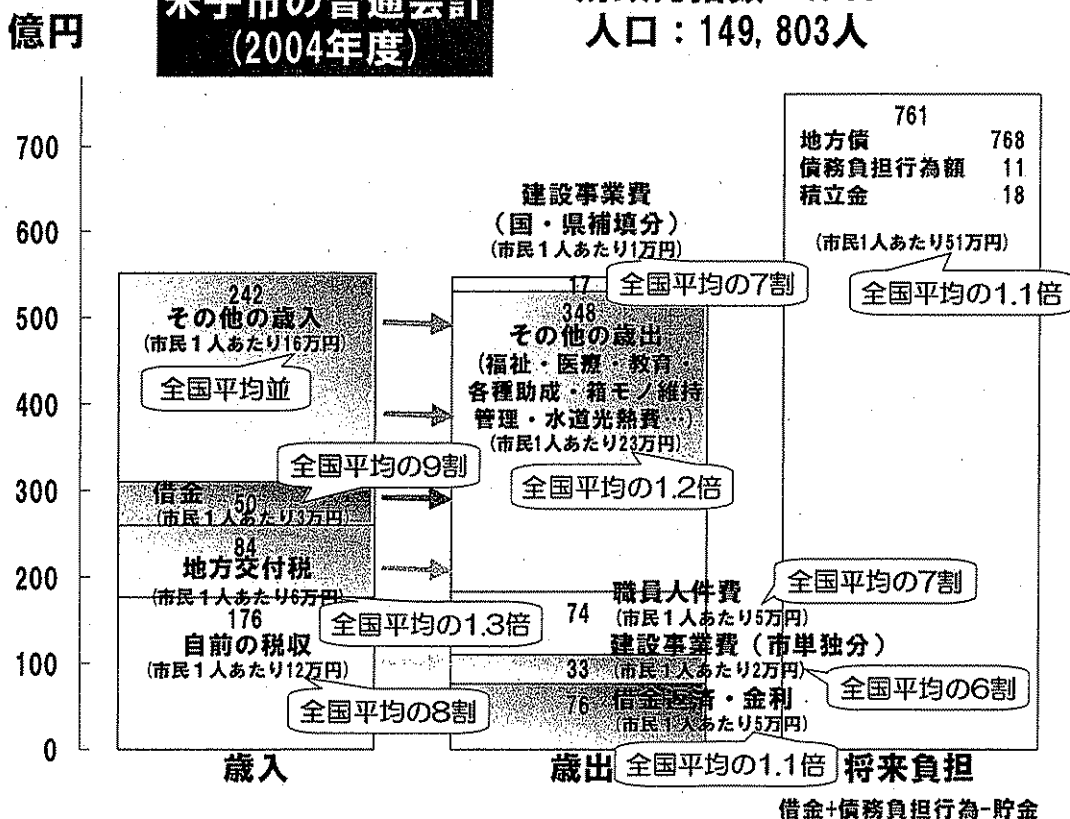
交付税が削られればたちまち運営困難となる

かつ、不足分を借入金に依存しており将来負担は非常に大きい

米子市の決算 (2004年度)

米子市の普通会計 (2004年度)

財政力指数：0.68
人口：149,803人



………淀江町との合併 (H17.3.31) 前であり同条件での比較とは言いえないが………

自前税収は収入の約3割と少ないが、その分、支出を抑えており借金返済と、自前の工事と、人件費ほぼ全てをまかなっている

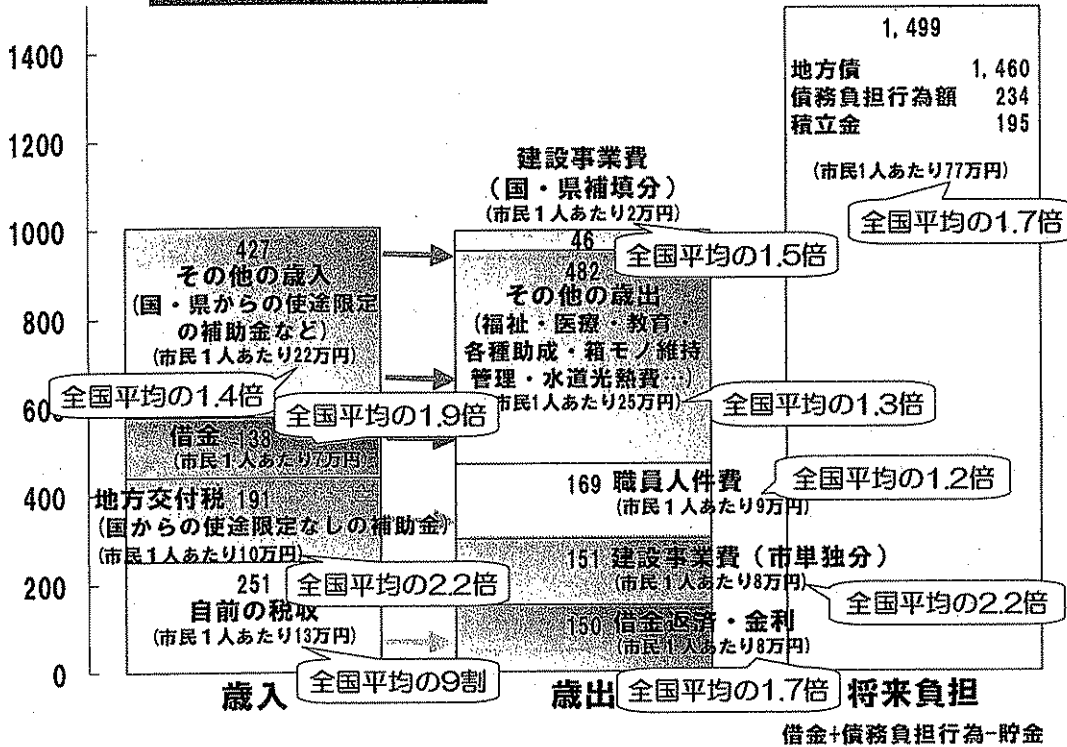
全般に財政的にはコンパクトに運営している印象
借入金も圧縮傾向である

松江市の決算 (2004年度)

松江市の普通会計 (2004年度)

財政力指数：0.55
人口：193,772人

億円



……鹿島町・島根町・美保関町・八雲村・玉湯町・宍道町・八束町との合併 (H17.3.31) 前であり同条件での比較とは言えないが……

自前税収は収入の1/4で、国からの交付税への依存度が極めて高い

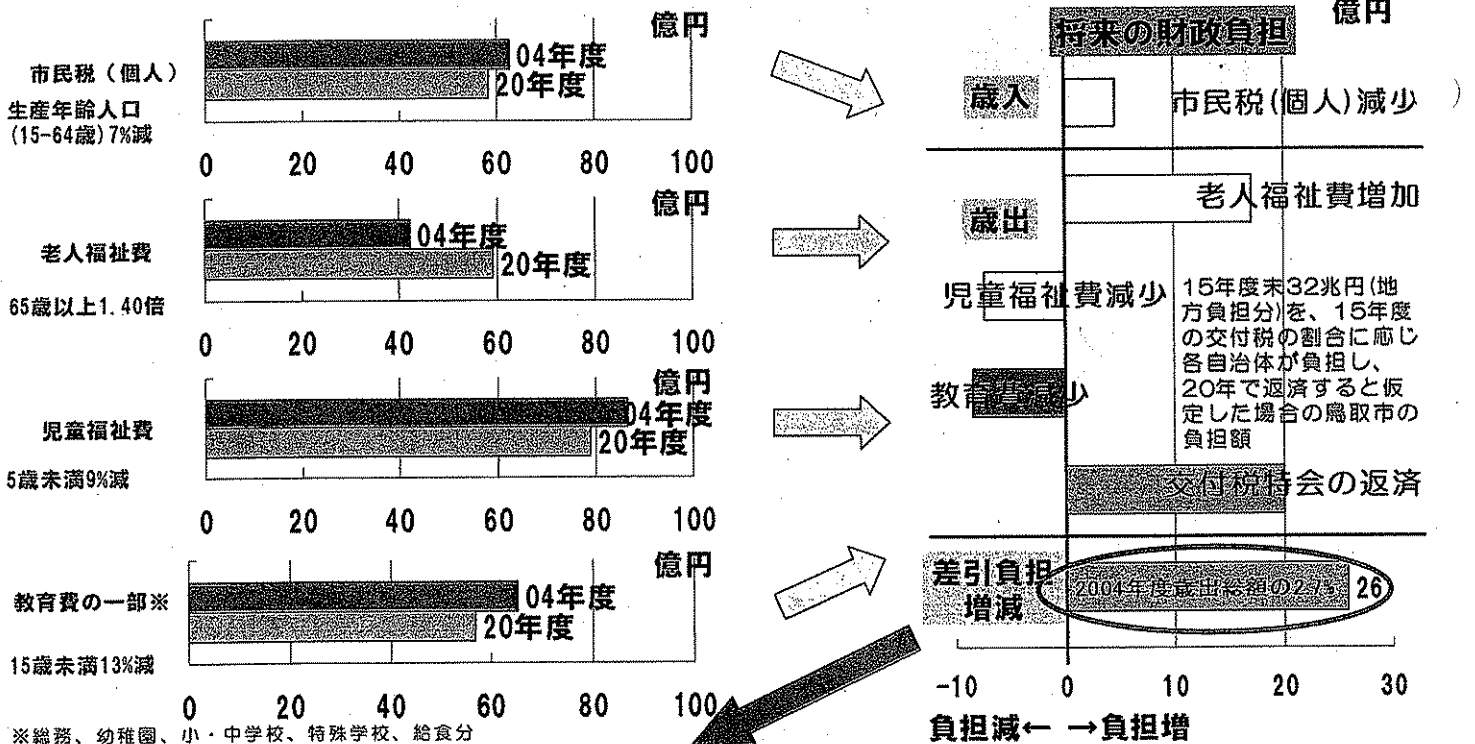
自前の税収では、借金返済と、自前の工事の一部しかまかなえない

交付税が削られればたちまち運営困難となる

かつ、不足分を借入金に依存しており将来負担は非常に大きい

鳥取市の決算

国勢調査 (2000年) と国立社会保障・人口問題研究所による人口予測 (2020年) による単純推計
(旧)鳥取市・国府町・福部村・河原町・用瀬町・佐治村・気高町・鹿野町・青谷町の合算予想

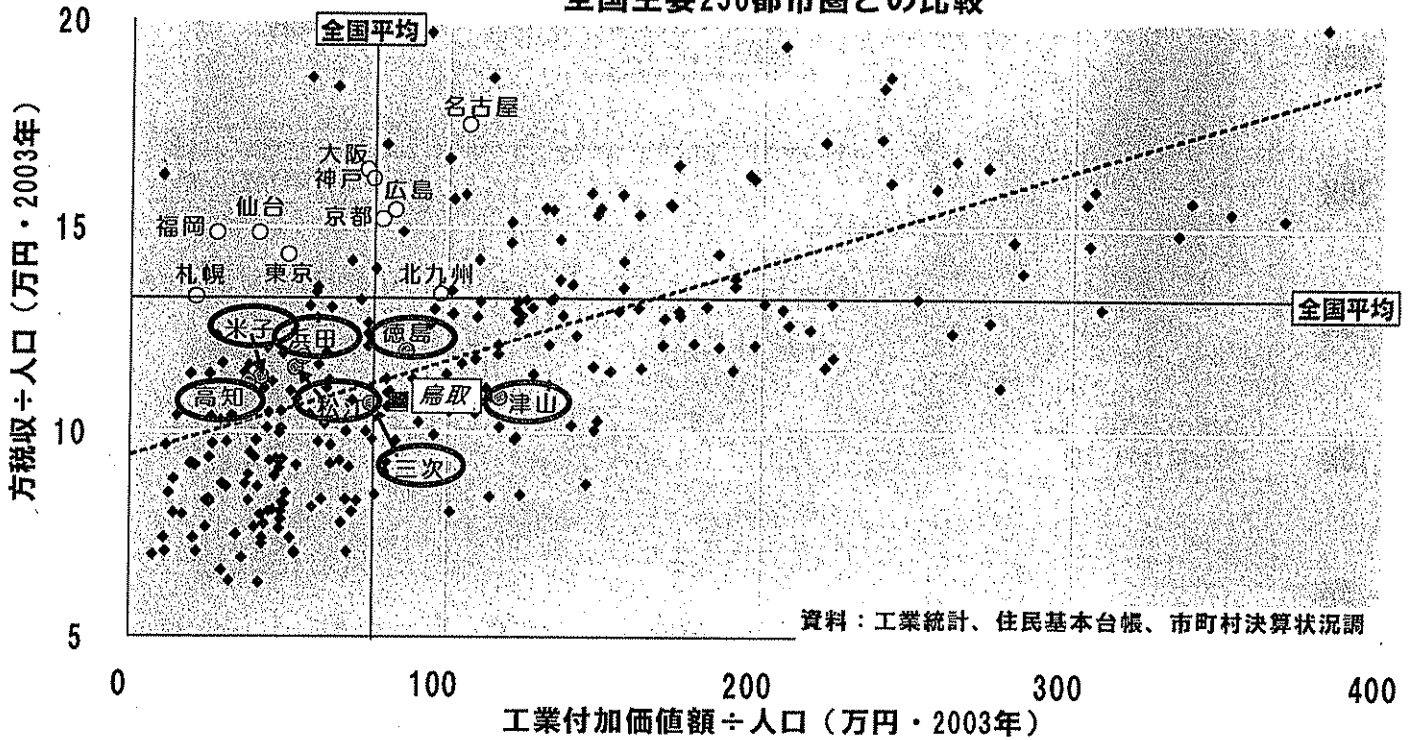


この他の歳入歳出が現状のままと仮定すると、毎年約26億円弱の負担増。さらに高度成長期に整備したインフラの更新投資も必要に。ところが今後国からの財政移転は減少。財政運営の効率化や民間資金の活用等で財源を確保できなければ数年で積立金を使い尽くしてしまう。

工業集積と地方税収

工業集積水準と地方税収の水準

全国主要256都市圏との比較



高齢化の水準と加速度

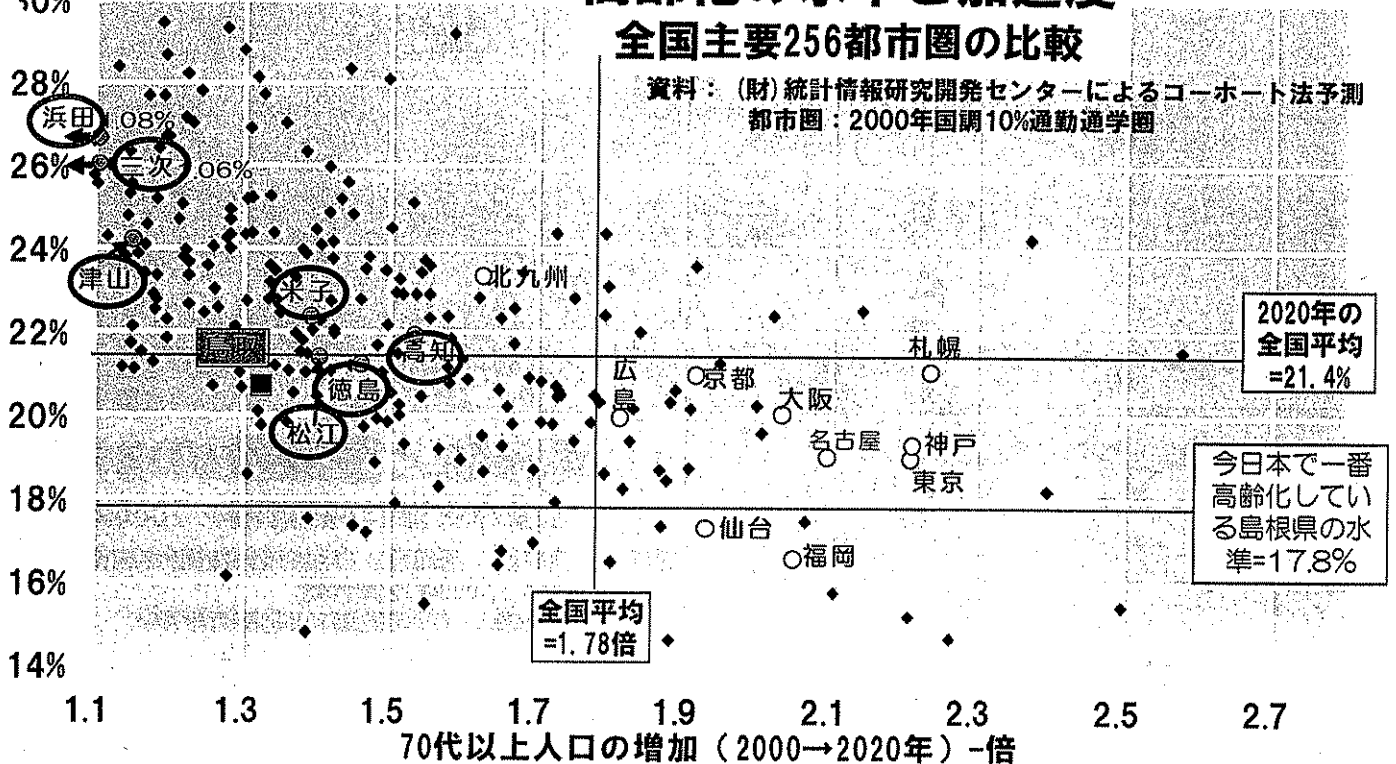
ここでの都市圏：中心市＋周辺市町村（2000年国勢調査に基づく10%通勤通学圏）－平成合併前

70代以上人口の比率（2020年）

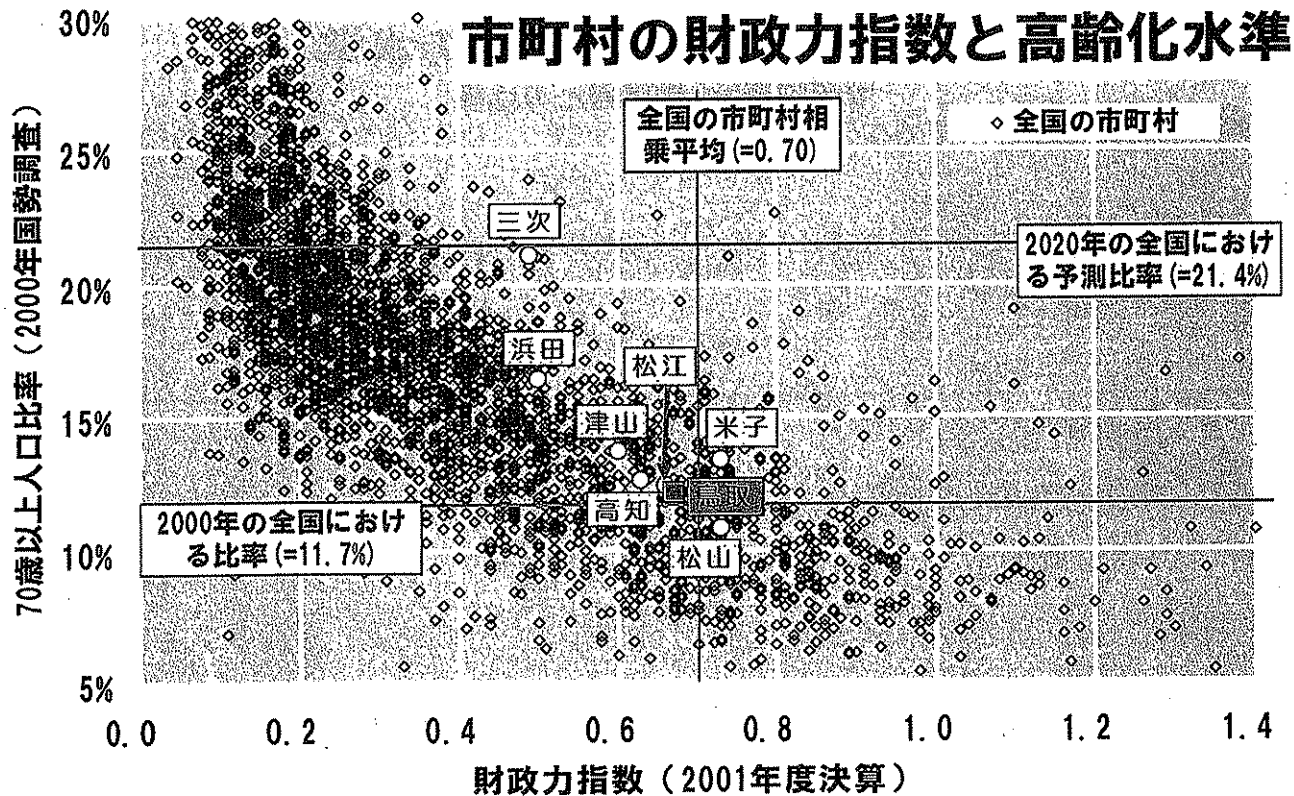
高齢化の水準と加速度

全国主要256都市圏の比較

資料：（財）統計情報研究開発センターによるコーホート法予測
都市圏：2000年国調10%通勤通学圏

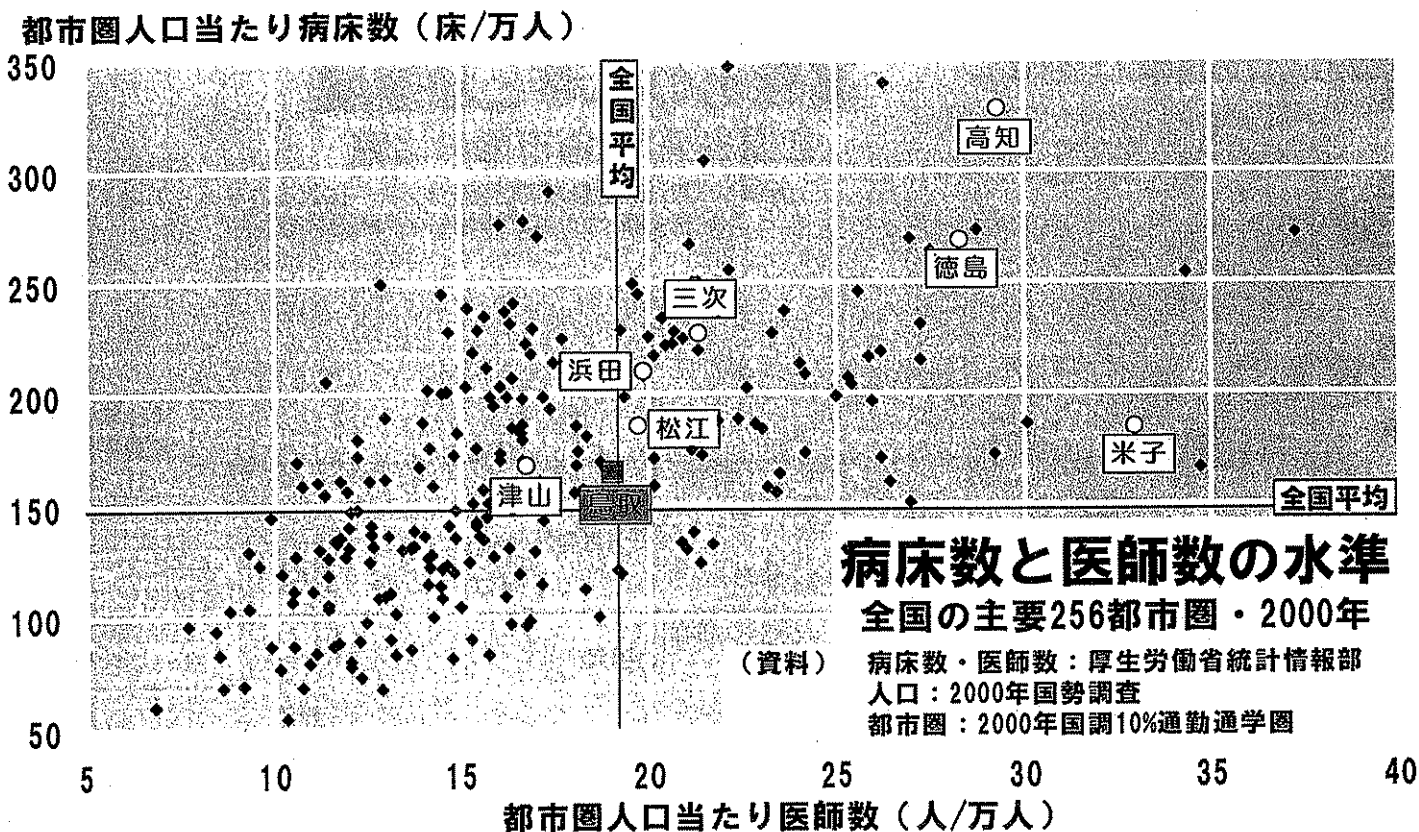


市町村の財政力指数と高齢化水準



※市町村区分は、平成合併前

病床数と医師数の水準

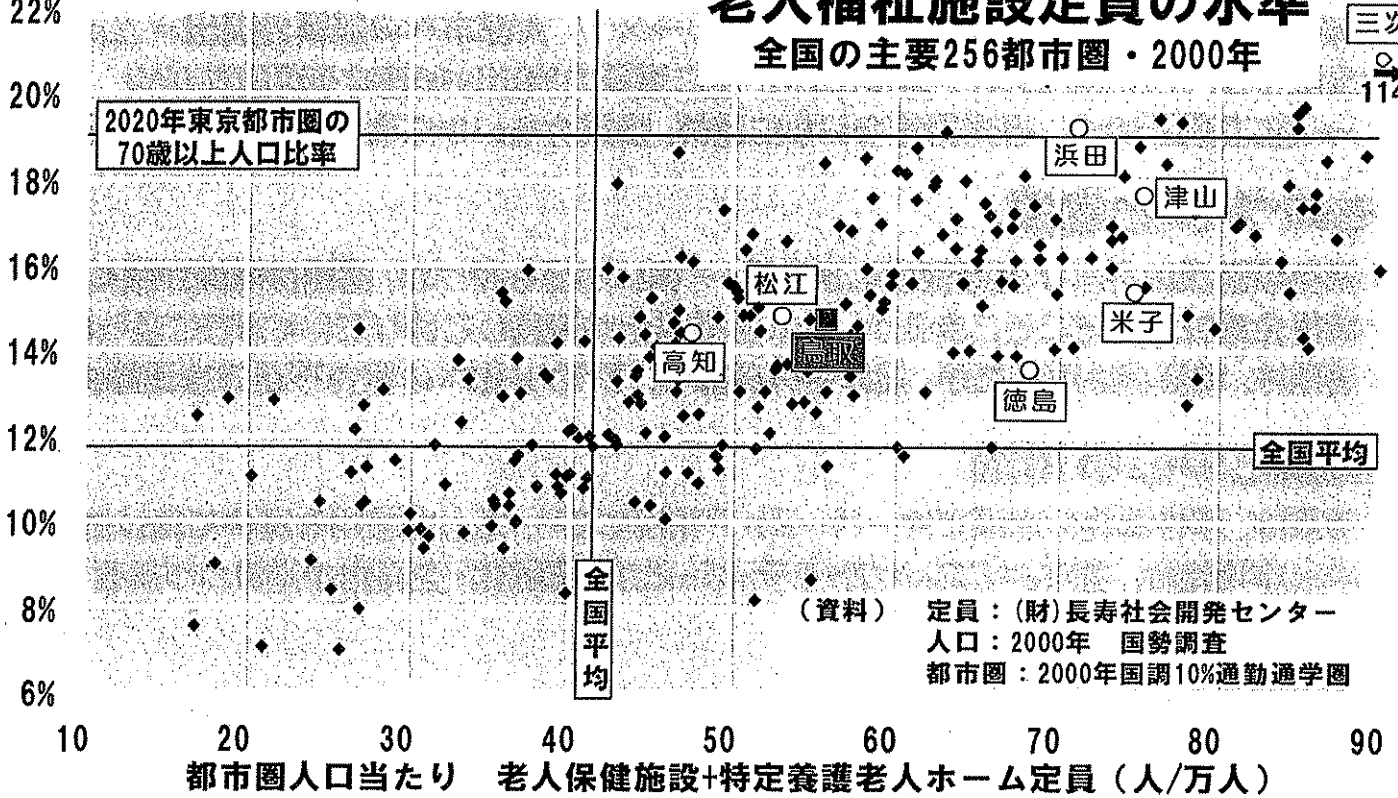


老人福祉施設定員の水準

70歳以上人口 ÷ 都市圏総人口
22%

老人福祉施設定員の水準 全国の主要256都市圏・2000年

三次
114



9. 診断により抽出された地域課題

診断により抽出された地域課題

■ 姫鳥線のインパクト

- 先行事例では、企業誘致 = Δ / 観光 = $\bigcirc \rightarrow \times$ / 大都市への購買力流出 = Δ or \times
- 鳥取でも、企業誘致は元々進んでおり、逆に購買力流出は加速する可能性が大
→ 逆に関西圏から、観光集客をいかに進め、購買力をいかに取り返せるかが課題

■ ものづくりと農業

- 既存製造業は各自が国際競争にまい進 → 強い商品を持つが、雇用は微減が続く
- 新規企業立地もそこそこあるが、中小企業同士が連携して伸びていくまでに至らず
- 農業は、特産品は豊富だが、担い手の高齢化、ブランド化への努力不足で衰退傾向

■ 商業と中心市街地

- 商業は、郊外開発の進展でオーバーストア状況にあり、売上も雇用も減少に転じた
- 中心市街地は、従来よりコンパクトシティだったが、高齢化・空洞化が進みつつある

■ 観光

- 観光は、資源は豊富なのに、魅力作りへの盛り上がりには欠け、統計も未整備
→ 高速道路開通時に集客が増えるか、その後維持できるか、いずれも未知数

87

課題に対処するには...!?

■ 分野々で割で考えていても、課題は解決に至らない

- 個別企業がそれぞれ生き残りを図るだけでは、寿命の長い産業集積はできない
- 個別の生産者が素材で勝負しているだけでは、地域特産品のブランド化は進まない
- 観光客も来ない、地元の若者も遊ばない地域では、人手不足で工場誘致も困難に
- 豊かな市街地商業空間のない地域では、宿泊も増えず、観光客はゴミを落とすだけ

■ 分野々で割・地域個別ではなく、横断的に融合した戦略が必要

- 市街地+製造業: ものづくりISOHO
- 市街地+農業+観光: 市街地版「道の駅」で郊外農漁村の特産品を販売
- 市街地+飲食: 市街地に工夫をこらした地元の食を堪能できる場を創造
- 中山間地ネットワーク: 佐治と青谷の和紙の連携 / 賀露の海の幸を鹿野の城下町で堪能

■ 若者と女性の新規創業パワーを活かそう

- 市街地の裏通りに増えつつある若者経営の店が、市街地の可能性を示している
- 中山間地の女性が開発しつつある新たな特産品に、もっと光を当てて盛り上げよう
→ 生き生きと新しいことに挑戦している「個人」の顔がもっと見える地域になることで、情報が全国に発信され、都会人がその地域に感じる魅力も増していく!